商品のお問い合わせに関して

― 商品選びのご相談や、お買いあげ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談 ―

・新製品などの商品選びのご相談
・各種ケーブルの接続などのご相談
・リモコン設定／時計合わせ等の基本的な設定
・内蔵チューナーのチャンネル設定
・録画／再生／削除などの基本操作
・表示窓に「SE XX」などが表示されたとき

『東芝DVDインフォメーションセンター』　[受付時間]　365日　9：00～20：00

一般回線からのご利用は　フリーダイヤル **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません）

携帯電話からのご利用は　ナビダイヤル **0570-00-3755（通話料：有料）**
（PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合がございます）

[IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は]　03-6830-1855(通話料：有料)
[FAXからのご利用は]　03-3258-0470(有料)

●「東芝 DVD インフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
●お客様の個人情報は、「東芝個人情報保護方針」に従い適切な保護を実施しています。
●お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
●東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検

★長年ご使用の VTR 一体型ハイビジョン レコーダーの点検を！

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった	● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● 電源コード、プラグが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある

お願い	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

* 1 V M N 2 8 2 1 3 A *

E3ML0JD ★★★★
1VMN28213A
Printed in China

東芝 VTR 一体型ハイビジョンレコーダー 取扱説明書

D-W250K

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

VARDIA

東芝 VTR 一体型ハイビジョンレコーダー取扱説明書

形名 **D-W250K**

準備編

電源を「入」にしたとき
●電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。

本機の操作で「わからない」「困った！」そんなときは…

➡操作編の「困ったときの解決法」（135 ページ）や「総合さくいん・用語解説」（140 ページ）をご覧ください。

地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンチューナー内蔵
VTR 一体型ハイビジョンレコーダー

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR　dts Digital Out　HDMI HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　DVD R/RW　DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO　VHS Hi-Fi

必ず最初に本書の「**安全上のご注意**」をお読みください。（➡6、7 ページ）
本書では「**安全上のご注意**」「**接続**」「**設定**」などについて説明しています。

このたびは東芝 VTR 一体型ハイビジョンレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めの VTR 一体型ハイビジョンレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

接続4 外部機器に接続する

目的とお好みに応じて接続をします。

24ページ

接続の目的

アンプなどのオーディオシステムを使って音声を楽しみたい

AV アンプと接続する

デジタル音声出力端子を使う

デジタル入力 光

35ページ

HDMI 端子付きアンプを経由する

HDMI入力

35ページ

BS・CS デジタル放送で、クイズ番組などの双方向番組に参加したい

電話回線につなぐ

ご注意

地上デジタル放送でも電話回線を使用する場合があります。

21ページ

つぎに「設定」をします

設定1 「初回設定」をする前に

初回設定をする前に、リモコンを使えるようにしたり、本機の電源コードを接続するなどをします。

22ページ

設定2 「初回設定」をする

ご購入後、はじめて電源を入れると、初回設定画面が表示されます。
画面の指示にしたがって進むと、簡単に設定ができます。

24ページ

準備完了

本機の使い方を知りたい

・基本的な操作を覚えたい！
・本機を使いこなしたい！

TOSHIBA VARDIA 操作編

「操作編」をご覧ください

手持ちの機器でシステムアップ

・その他の機器と接続したい
・各アンテナ、本機やテレビに付いている入力／出力端子について知りたい

「その他の機器とつなぐ（応用の接続）」をご覧ください

29ページ

・「初回設定」をやり直したい
・設定を個別に行ないたい

「詳しい設定をする（応用の設定）」をご覧ください

37ページ

・意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
・本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なります。
・本取扱説明書で説明しているイラスト、画面表示などは、例として表示してあります。

もくじと付属品の確認・つづき

準備をしましょう！

アンテナ・テレビとつなぐ (基本の接続)

「初回設定」をする (基本の設定)

その他の機器とつなぐ（応用の接続）

詳しい設定をする (応用の設定)

ご注意と参考資料

箱の中身を確かめる

□の中に、チェックマーク（✓）を付けてご確認ください。
欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■本体と付属品

□本体／1台	□ワイヤレスリモコン／1本（単4形乾電池／2個）
□同軸ケーブル（75 Ω）／1本	□映像・音声接続コード／1本
□B-CAS カード／1枚	
※B-CAS カードはデジタル放送受信契約のための受信者 ID カードです。B-CAS カードは付属の説明紙についています。	

●取扱説明書類

□ 本書（取扱説明書 準備編）／1冊
□ 取扱説明書 操作編／1冊
□ クイックガイド／1冊
□ BS・110度 CS デジタル放送受信契約申込書一式

テレビで映る地上アナログ放送局を確かめる

お使いのテレビでは、どの放送局（地上アナログ放送局）が何チャンネルで映り、リモコンのボタン番号が何番で切り換わりますか？下の表にメモしてください。

映っている放送局名	表示 CH とリモコンのボタン番号	映っている放送局名	表示 CH とリモコンのボタン番号
（例）NHK 総合	1CH／1		CH／
	CH／		CH／
	CH／		CH／
	CH／		CH／
	CH／		CH／
	CH／		CH／
	CH／		CH／
	CH／		CH／
	CH／		CH／

安全上のご注意 必ずお読みください。

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、人が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1： 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
禁止	“⊘”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

プラグを抜け

次のときは、ただちに電源プラグを抜くこと
- **煙が出ていたり、変なにおいがしたりするとき**
- **内部に水や異物がはいったとき**
- **落としたり、キャビネットを破損したとき**
- **電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。

禁止

電源コードは
- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**
- **他の電源コードは使用しないこと**
- **他の機器に使用しないこと**

火災・感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れないこと
感電の原因となります。

指示

時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること
電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。
また、接触不良による故障の原因となります。
（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

指示

電源プラグは交流 100V のコンセントに接続すること
交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置すること
万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

禁止

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと
本機が落ちて、けがの原因となります。

分解禁止

修理・改造・分解はしないこと
火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと
火災・感電の原因となります。

上載せ禁止

上にものを置かないこと
金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

異物挿入禁止

ディスクトレイなどから異物を入れないこと
金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。

⚠注意

禁止 **モジュラー分配器、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしない**
電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに強い衝撃電流が流れますので、感電の原因になることがあります。

指示 **正しく接続する**
正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

禁止 **湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと**
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁止 **風通しの悪い場所に置かないこと**
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁止 **背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがないこと**
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。これら通風孔とラックとの間は10cm以上離してください。

指示 **移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずすこと**
電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

引っ張り禁止 **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと**
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
感電の原因となることがあります。

プラグを抜け **旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと**
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

禁止 **温度の高い場所に置かないこと**
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止 **高い場所に設置しないこと**
本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

指示 **電源を入れる前には音量を最小にすること**
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

禁止 **テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎないこと**
音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

禁止 **リモコンに使用している乾電池は、**
- **●指定以外の乾電池は使用しないこと**
- **●極性［(＋)と(－)］を間違えて挿入しないこと**
- **●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと**
- **●乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと**
- **●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁止 **ディスクトレイに、手を入れないこと**
指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。

禁止 **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

手を挟まれないよう注意 **ビデオのテープ挿入口に、手を入れないこと**
指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様がいるときにはご注意ください。
ふたに不容易な力を加えないでください。

確認と準備

つなぐ方法を確認する

■つなぐ場所を確認する（本機側）

アンテナ線やテレビとつなぐ場所は本体背面にあります。

本体背面

HDMI 出力端子

テレビの HDMI 入力端子につなぐときに使います。端子のなかでも一番おすすめで、きれいな映像と音声が楽しめます。

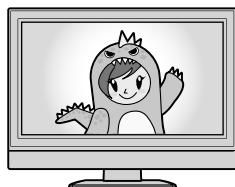
19、35 ページ

デジタルハイビジョン映像や音声を、他の端子よりも高品質※で楽しめます。

※つなぐテレビの性能にもよります。

HDMI 出力

BS・110 度 CS 入力 / 出力端子

BS・110 度 CS デジタル放送を見たり録画するときに、BS・110 度 CS デジタル放送のアンテナ線をつなぎます

14、15、16 ページ

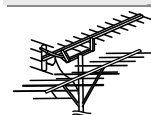
電源コード

22 ページ

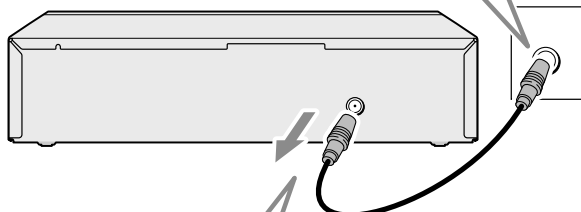
アンテナ線やテレビなど、必要な接続が終わってからつなぎます。

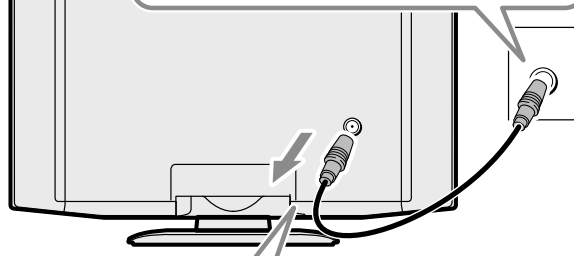
地上デジタル入力 / 出力端子

地上デジタル放送を見たり録画するときに、VHF/UHF のアンテナ線をつなぎます。

14、15、16 ページ

■つなぐ場所を確認する（テレビ側）

ビデオデッキやテレビなど、**アンテナ線のつながっている機器の電源を「切」の状態にします。**
電源プラグを先にコンセントから抜きます。そのあと、アンテナ線をはずします。

こちらはそのまま

ビデオデッキ側を抜く

こちらはそのまま

テレビ側を抜く

電話回線端子

デジタル放送の双方向番組に参加するなどしたいときは、電話線を接続します。

21ページ

入力 1 端子

16ページ

BS デジタルやスカパー！チューナー、ケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスや、他のビデオデッキなどの映像を録画したいときに、機器とつなぎます。

地上アナログ入力 / 出力端子

地上アナログ放送を見たり録画するときに、VHF/UHF のアンテナ線をつなぎます。

14、15、16ページ

デジタル音声出力端子

デコーダ内蔵 AV アンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。

35ページ

出力端子

テレビの映像（黄）入力・音声（赤 / 白）入力端子や、S 入力端子とつなぐときに使います。

20ページ

D1/D2/D3/D4 映像出力端子

テレビの D 映像入力端子につなぐときに使います。

映像（黄）、S 端子よりもきれいな映像でたのしめます。

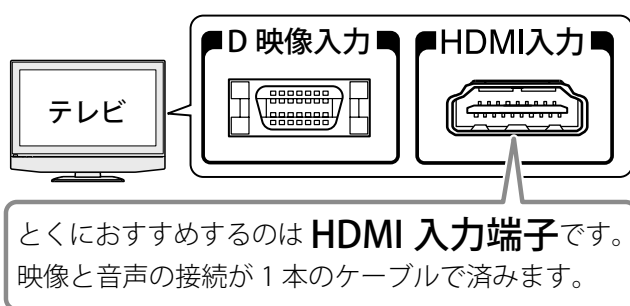
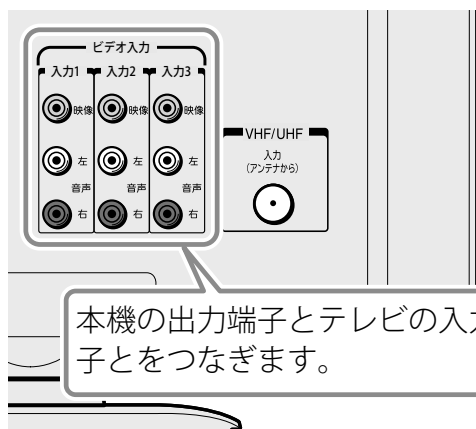
19ページ

映像・音声入力端子には、テレビで本機の映像を表示したり、音声を出す働きがあります。

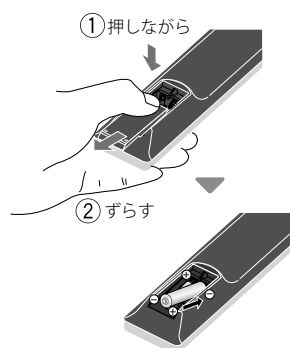
本機の出力端子とテレビの入力端子とをつなぎます。

お使いのテレビに「**HDMI 入力**」端子や「**D 入力**」端子があるときは、どちらかでつなぐのがおすすめです。

とくにおすすめするのは **HDMI 入力端子**です。
映像と音声の接続が 1 本のケーブルで済みます。

確認と準備・つづき

リモコンが使えるように準備する

乾電池を入れる

①押しながら
②ずらす

1 リモコン裏側のふたをはずす

ふたを矢印の方向にスライドさせて開けてください。

2 極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように乾電池（単四形、2個）を入れる

本機のリモコンでお使いのテレビを操作できるようにする

1 リモコンの[テレビ電源]を押したまま、お使いのテレビのメーカー番号を[10/0]〜[9]の番号ボタンで入力（2ケタ）する

たとえば、東芝製のテレビなら[テレビ電源]を押したまま[10/0]→[10/0]を押します（[10/0]は番号「0」です）。

対応するテレビメーカー	メーカー番号
東芝	00
パナソニック（松下）A	01
パナソニック（松下）B	02
日立	03
三菱	04
シャープ A	05
シャープ B	06
日本ビクター	07
三洋 A	08
三洋 B	09
ソニー	10
フナイ	11
NEC	12
富士通ゼネラル	13
パイオニア	14
エプソン	15

- 出荷時は東芝のテレビに設定しています。
- メーカーによっては、二つ以上の設定番号があります。その場合は、本機のリモコンで操作できるかどうか、一つずつ入力して試してみてください。
- 上記の表に記載の無いメーカーの場合、本機のリモコンを使ってのテレビ操作はできません。

2 入力が終わったら[テレビ電源]から指をはなす

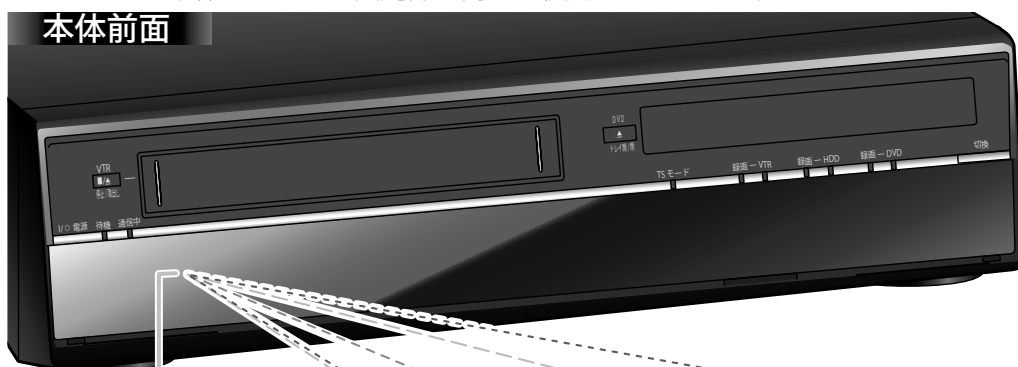
リモコンにメーカー番号が記録され、お使いのテレビが操作できるようになります。

■お使いのテレビで以下の操作ができるようになります

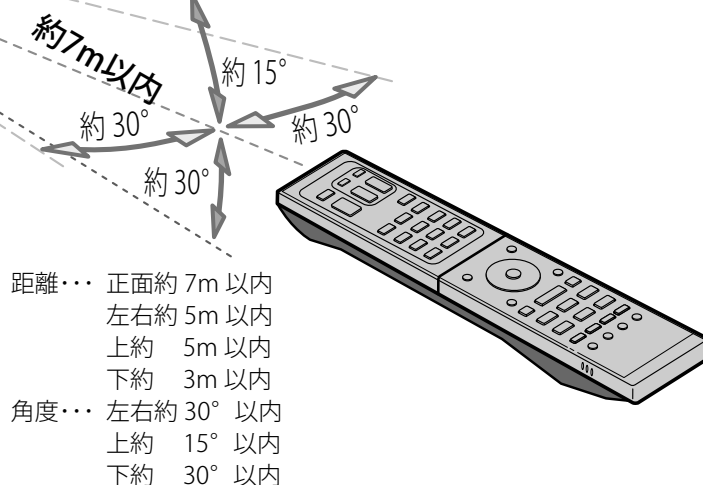
電源	：	テレビの電源の入／切
入力切換	：	ビデオ入力の切換
チャンネル	：	テレビのチャンネルの切換
音量	：	テレビの音量調節

ご注意 **電池の交換などをしたときは、再度メーカーコードを設定してください**
- 電池の交換など、電池が取り外ずされると、メーカー番号は出荷時設定番号（00）に戻ります。その際は、テレビのメーカー番号を設定し直してください。
- **対応メーカーでも、テレビによっては本機のリモコンで操作できない場合や、一部操作できないボタンがあります。**

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

リモコン受光部

※リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

距離・・・	正面約 7m 以内
	左右約 5m 以内
	上約　5m 以内
	下約　3m 以内
角度・・・	左右約 30°以内
	上約　15°以内
	下約　30°以内

ご注意 **リモコンの取扱について**
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置いたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 動作しなかったり、到達距離が短くなったりしたときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を同時に使わないでください。

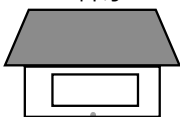
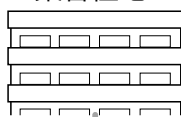
基本の接続（アンテナ・テレビとつなぐ）

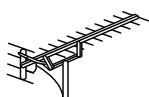
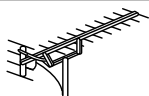
地上デジタル放送の確認

お住まいは一軒家ですか？マンションなどの集合住宅ですか？

※ここでは例として屋外設置用の代表的なアンテナを掲載しています。これ以外に屋内用やベランダ設置用など、多様なアンテナが市販されています。

一軒家　または　集合住宅

一軒家の場合

お住まいの地域が地上デジタル放送が開始されていますか？放送開始についてなどの確認を、下記の「地上デジタル放送の受信に関して」をご覧いただき、ご確認ください。

- 開始していない → 放送開始するまで地上デジタル放送はお楽しみいただけません。
- 開始している → 左図のような形状のアンテナ※が、家屋の屋根などに設置されていますか？また、最近設置しましたか？
  - 設置している → 本機とアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。（➡14、15 ページ）
  - 設置していない／わからない → 左図のような形状のアンテナ※が、ご近所の屋根などに設置されていますか？
    - 設置している → 地上デジタル放送をお楽しみいただくには、対応のアンテナを設置する必要があります。
      ●設置に関しては、販売店や、設置業者などにご相談ください。
    - 設置していない／わからない → お住まいの地域が「難視聴地域」である可能性があります。お住まいの市（町、村）役所などに難視聴地域であるかどうかを、ご確認ください。「難視聴地域」の場合、CATV 会社とのご契約が必要になることがあります。その点などもご確認ください。
      難視聴地域でない場合は、地上デジタル放送対応のアンテナを設置する必要があります。
      ●設置に関しては、販売店や、設置業者などにご相談ください。

集合住宅の場合

管理会社などに、建物が「地上デジタル放送に対応」しているかどうかをご確認ください。
また、お住まいの地域が地上デジタル放送が開始されているかも、ご確認ください。

- 開始されている → 本機とアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。（➡14、15 ページ）
- 地域が開始されていない → 放送が開始されるまで地上デジタル放送はお楽しみいただけません。
  ●放送開始についてなどの確認は、下記の「地上デジタル放送の受信に関して」をご覧ください。
- 地域は開始されているが、建物が対応していない → 地上デジタル放送をお楽しみいただくには、個人で対応のアンテナを設置する必要があります。
  ●設置に関しては、販売店や、設置業者などにご相談ください。

●地上デジタル放送の受信に関して

地上デジタル放送の放送開始地域かなどを、以下のホームページまたはお電話にてご確認いただけます。（以下は 2009 年 7 月現在の情報です。）

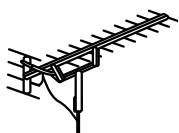
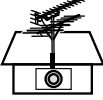
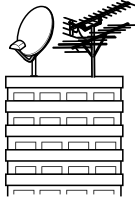
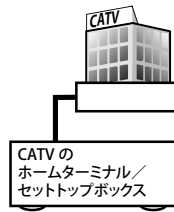
- 社団法人デジタル放送推進協会（ホームページ http://dpa.or.jp/）
- 総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
  (ホームページ http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html)

ナビダイヤル…0570-07-0101 ／ IP 電話などでつながらない方は…03-4334-1111

平日	午前 9 時～午後 9 時	土曜、日曜、祝日	午前 9 時～午後 6 時

地上デジタル放送対応アンテナの設置などについては、販売店や設定業者にご相談ください。

地上デジタル放送対応 UHF アンテナ※

●地上デジタル放送をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。
電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 地上デジタル放送に対応しているかご確認ください。対応している場合はご使用中のアンテナで受信できますが、アンテナの劣化などで受信できない場合には、新しいアンテナへの交換や、ブースターの設置などが必要です。地上デジタル放送に対応していない場合は、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。
- 本機のアンテナ入力端子への接続は、必ず付属の同軸ケーブルか、地上デジタル対応の同軸ケーブル（市販品）をお使いください。
- アンテナ線はほかの電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。

接続のながれ お使いの環境に合わせて、□の中に「✓」を付けておくと、あとで確認するときに便利です。

接続するテレビがアナログ放送に対応している場合は、以降の説明を参考に、テレビと接続してください。

1 アンテナをつなぐ　お使いのアンテナに合わせて選んでください。

お住まい独自でアンテナを設置している

- 地上デジタル・アナログ放送のみ受信している □ 14ページ
- 地上デジタル・アナログ放送と、BS・110 度 CS デジタル放送を、同じアンテナ端子で受信している □ 15ページ
- 地上デジタル・アナログ放送と、BS・110 度 CS デジタル放送を、別のアンテナ端子で受信している □ 14ページ

マンションなど集合住宅の共聴アンテナを利用している

- □ 15ページ
- 地上デジタル・アナログ放送とは別に、BS・110 度 CS デジタル放送をお住まい独自のアンテナで受信している □ 14ページ

CATV(ケーブルテレビ)を利用している

CATV
CATV のホームターミナル／セットトップボックス

□ 16ページ

2 テレビにつなぐ　お使いのテレビに合わせて選んでください。

➡18、19 、20ページ

3 ～ 4 は、用途とお好みに応じて行なってください

3 電話回線につなぐ

BS・110 度 CS デジタル放送の双方向放送※に必要です。

※クイズ番組への参加や通販番組での商品購入など

□ 21ページ

4 オーディオシステムなどの外部機器とつなぐ

□ 34、35ページ

接続は完了です。「初回設定」をする前に（➡22ページ）へすすみます

つなぐときの注意

●接続するまえに電源プラグをコンセントから抜いてください

プラグを抜く

接続するときは、必ず本機および接続するテレビやモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください（➡22 ページ）。

●テレビから外したアンテナ線形状、コネクター部分が以下のようなとき

平行フィーダー線

地上デジタル放送用アンテナと接続には、同軸ケーブルをおすすめします。

・平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。

F 型コネクター

今まで使っていた、または市販の同軸ケーブルが F 型コネクタータイプのときは、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけないでください。

同軸ケーブル（付属品）のプラグ部分がテレビなどの VHF/UHF 端子と合わないことがあります。その場合は、端子に合った市販の同軸ケーブルをお買い求めください。

●BS・110度CSデジタル放送共通アンテナをつないだとき

BS・110 度 CS デジタル放送共通アンテナに電源を供給する設定をします（➡56 ページ）。

各放送波用のアンテナについて詳しくは、➡「アンテナやテレビと接続するときのヒント」（30 ページ）をご覧ください。

基本の接続（アンテナ・テレビとつなぐ）・つづき

アンテナ線をつなぐ

❶などの番号は、接続する手順を表します。はずすときは、逆の手順ではずします。

「接続例A」地上デジタル・アナログ放送のアンテナ線のつなぎかた

地上デジタル・アナログ放送を見たり録画するために、必要なアンテナとつなぎます。本機とつなぐテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

部屋の壁などにあるアンテナ端子（VHF/UHF 対応）

地上アナログ放送用 VHF / 地上デジタル放送対応 UHF アンテナ

「入力」または「IN」へ

分配器（市販品）

分配器は、金属シールドタイプ（亜鉛ダイカスト製など）を使用してください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

同軸ケーブル（市販品）

同軸ケーブル 今までテレビやビデオデッキのアンテナ入力端子につないでいたもの

テレビ　地上デジタル／アナログアンテナ（VHF/UHF）入力（アンテナから）

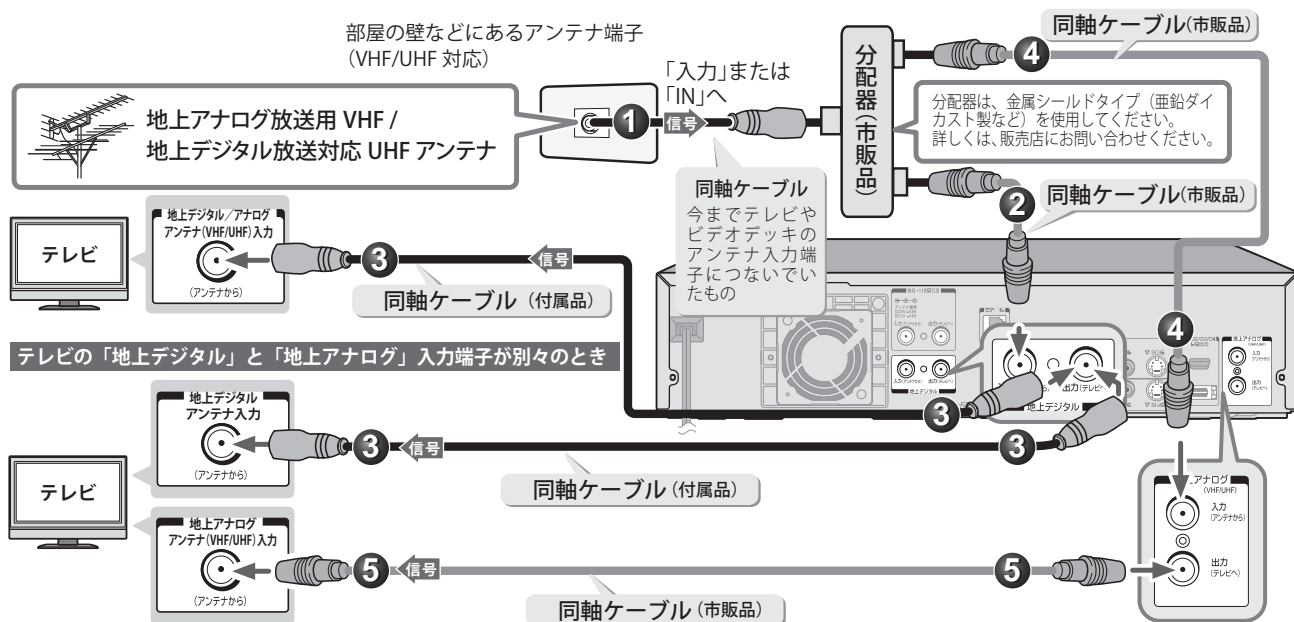
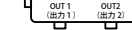
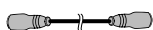
同軸ケーブル（付属品）

テレビの「地上デジタル」と「地上アナログ」入力端子が別々のとき

テレビ　地上デジタルアンテナ入力（アンテナから）　地上アナログアンテナ（VHF/UHF）入力（アンテナから）

同軸ケーブル（付属品）

同軸ケーブル（市販品）

アナログ（VHF/UHF）　入力（アンテナから）　出力（テレビへ）

つなぐのに必要なもの	❸ 同軸ケーブル（75 Ω）（付属品）	❷❹❺ 地上デジタル放送対応 同軸ケーブル（75 Ω）（市販品）	分配器（市販品） OUT 1（出力 1） OUT2（出力 2）

メモ　テレビのアンテナ入力端子が地上デジタル / アナログ共通の場合は本機の地上アナログ出力、地上デジタル出力のうちどちらか一方と接続してください。

「接続例B-1」地上デジタル・アナログ放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ線のつなぎかた

地上デジタル・アナログ放送や BS・110 度 CS デジタル放送を見たり録画するために、必要なアンテナとつなぎます。本機とつなぐテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

BS・110 度 CS 地上デジタル放送対応アンテナを別に取り付けている場合

地上アナログ放送用 VHF ／ 地上デジタル放送対応 UHF アンテナ

BS・110 度 CS デジタル放送共通アンテナ

部屋の壁などにある BS・110 度 CS デジタルアンテナ端子

部屋の壁などにあるアンテナ端子（VHF/UHF 対応）

BS・110 度 CS デジタル放送対応 同軸ケーブル（市販品）

同軸ケーブル 今までテレビやビデオデッキのアンテナ入力端子につないでいたもの

BS・110度CS　アンテナ電源 DC15V 最大4W DC11V 最大3W　入力（アンテナから）　出力（テレビへ）

BS・110度CSデジタル アンテナ入力（アンテナから）

地上デジタル／アナログ アンテナ（VHF/UHF）入力（アンテナから）

テレビ

地上アナログ放送を受信する場合は

上記「接続例 A」のように分配器を使用し、アンテナ線を本機アナログ入力端子にも接続してください。

同軸ケーブル（付属品）

つなぐのに必要なもの	
❷ 同軸ケーブル（75 Ω）（付属品）	❸❹ BS・110 度 CS デジタル放送対応 同軸ケーブル（75 Ω）（市販品）

「接続例B-2」地上デジタル・アナログ放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ線のつなぎかた

地上デジタル・アナログ放送や BS・110 度 CS デジタル放送を見たり録画するために、必要なアンテナとつなぎます。
本機とつなぐテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

各放送波の信号が混合されているときやマンションなどの共同受信の場合

BS・110 度 CS デジタル放送共通アンテナ

地上アナログ放送用 VHF ／地上デジタル放送対応 UHF アンテナ

BS・U/V 分波器は、金属シールドタイプ（亜鉛ダイカスト製など）で 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応の、電流通過型のものをご使用ください。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。

部屋の壁などにあるアンテナ端子（VHF/UHF/BS・110 度 CS デジタル対応）

「入力」または「IN」へ

BS・110 度 U/V 分波器（市販品）

BS・110 度 CS デジタル放送対応同軸ケーブル（市販品）

「BS・110 度出力」または「BS・110 度 OUT」へ

「U/V 出力」または「U/V OUT」へ

分配器（市販品）

同軸ケーブル（市販品）

同軸ケーブル（付属品）

BS・110 度 CS デジタル放送対応同軸ケーブル（市販品）

テレビ

同軸ケーブル
今までテレビやビデオデッキのアンテナ入力端子につないでいたもの

つなぐのに必要なもの	⑤ 同軸ケーブル（75 Ω）（付属品）	④⑦ 地上デジタル放送対応同軸ケーブル（75 Ω）（市販品）	①②③ BS・110 度 CS デジタル放送対応同軸ケーブル（75 Ω）（市販品）
	分配器（市販品）		BS・110 度 U/V 分波器（市販品）

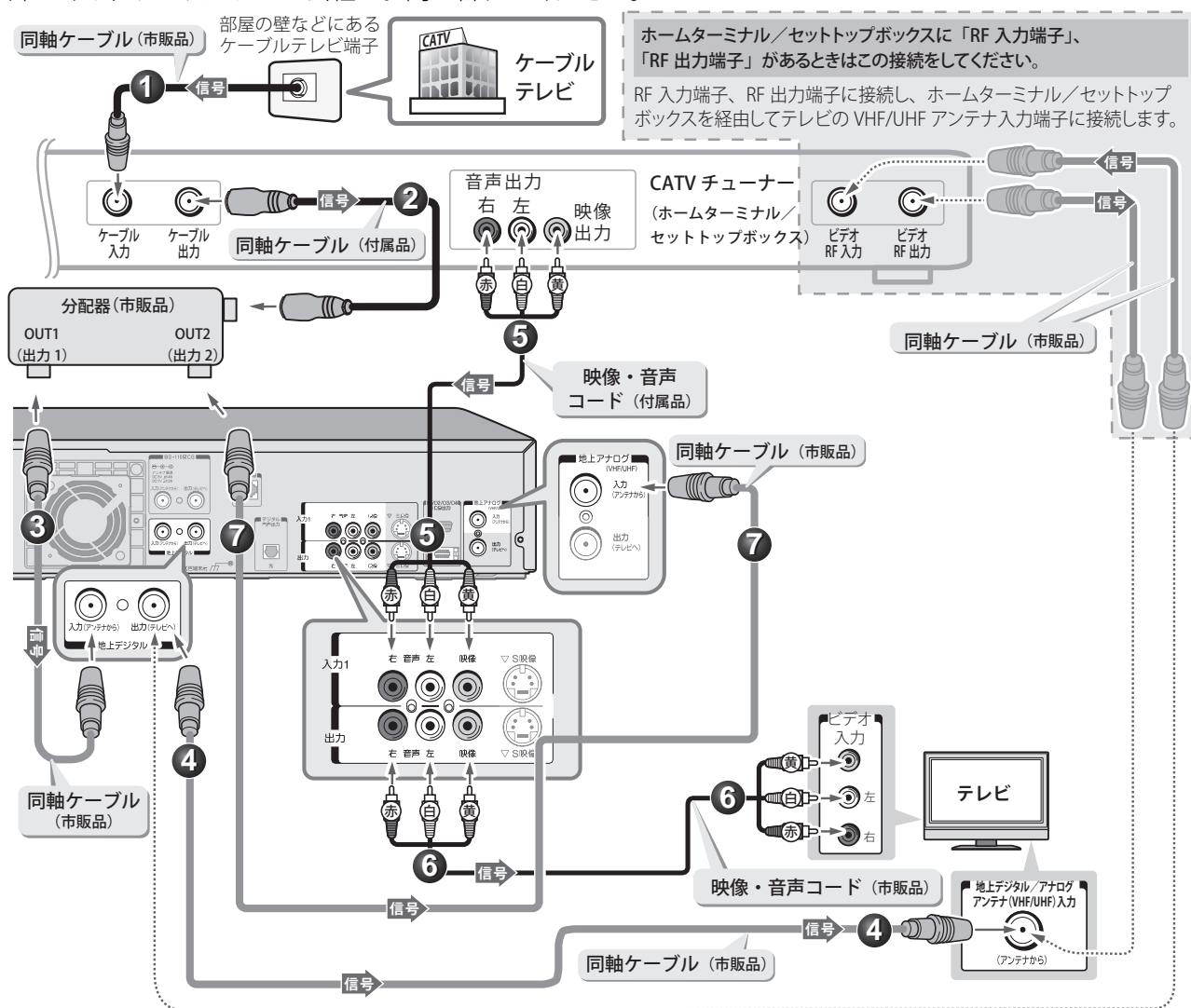
基本の接続（アンテナ・テレビとつなぐ）・つづき

メモ	
放送視聴中に、「映りが悪い」、「ノイズが出る」などのとき	設定を確認、変更したり、市販のブースターを使用するなどします。詳しくは、⇨『「映りが悪い」「ノイズが出る」などの場合』（31 ページ）をご覧ください。
「初回設定」を行なったあとに、各放送波のアンテナを追加で接続したとき	アンテナをあとから追加したときは、「セットアップ」「デジタル設定」メニューなどで放送波に必要な設定を追加で行なうなどしてください。

「接続例C」CATV（ケーブルテレビ）のホームターミナル／セットトップボックス（STB）とのつなぎかた

以下は一例です。実際の接続とご使用にあたっては機器や会社ごとに詳細が異なります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

ホームターミナル／セットトップボックスに「RF 入力端子」、「RF 出力端子」があるときはこの接続をしてください。

RF 入力端子、RF 出力端子に接続し、ホームターミナル／セットトップボックスを経由してテレビの VHF/UHF アンテナ入力端子に接続します。

BS・110 度 CS デジタル放送対応アンテナを設置している場合は

左記に以下の接続を加えてください。

CATV
ケーブルテレビ
ケーブルテレビ放送とBS放送が混合されている場合
BS・110 度 CS デジタル放送対応アンテナ
部屋の壁などにあるケーブルテレビ端子
BS・110 度 CS デジタル放送対応同軸ケーブル（市販品）
信号
BS・U/V 分波器・分配器は、金属シールドタイプ（亜鉛ダイカスト製など）で 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応の、電流通過型のものをご使用ください。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。
BS・110 度 U/V 分波器・分配器（市販品）
U/V
BS・110 度
CATV チューナーのケーブル入力端子につなぎます（左図参照）。
同軸ケーブル（市販品）
BS・110度CS
アンテナ電源 DC15V 最大4W DC11V 最大3W
入力(アンテナから)
出力(テレビへ)
BS・110 度 CS デジタル放送対応同軸ケーブル（市販品）
BS・110度CSデジタル アンテナ入力
(アンテナから)
テレビ

お知らせ

CATV についてのお知らせ

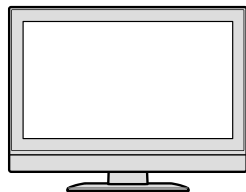
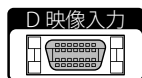
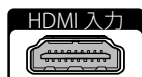
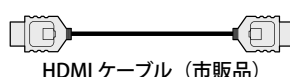
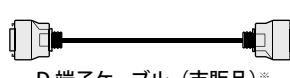
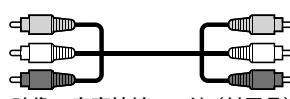
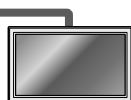
- 本機はパススルー方式に対応しています。パススルー方式とは、CATV会社が地上デジタル放送を信号変換せずそのままケーブルテレビに送る方式です。ご加入のケーブルテレビ会社がパススルー方式であれば、地上デジタル放送を本機で受信・録画できます。ケーブルテレビ経由の地上デジタル放送は、本来のUHFのチャンネルとは違うチャンネルに周波数を変換して送られてくることがあります。

メモ **他にも機器とつなぎたいとき** 本機につなぐ外部機器について詳しくは、⇨「本機に接続できる外部機器について」（34 ページ）をご覧ください。

基本の接続（アンテナ・テレビとつなぐ）・つづき

テレビとつなぐ

本機につなぐテレビの入力端子と画質について

本機とつなぐ機器の背面などにある、映像や音声の入力端子をご確認ください。映像をよりきれいにご覧いただいたり、ハイビジョン映像をそのまままきれいな画質でお楽しみいただくには、**「HDMI 端子」**または**「D 端子」**に対応しているテレビ、モニターやプロジェクターが必要になります。**つなぐ機器が HDMI 端子に対応しているときは、HDMI 端子につなぐことをおすすめします。**
本機とつなぐテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

本機とつなぐには、右図のような、「HDMI 入力」、「D 映像入力」や「入力 1」といった、入力端子のいずれかが必要です。
また、接続する入力端子によっては、専用のケーブルやコードが必要になります。

※音声をつなぐときは、付属の映像・音声接続コードや市販の音声接続コードをお使いください。

●**本機とテレビは直接接続してください。**
本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AV アンプなどを通してご覧になると、コピー防止機能によって正常な映像にならないことがあります。

メモ

テレビとつなぐ端子についての詳しいお知らせを知りたいとき
各端子について詳しくは、⇨「本機につなぐテレビの入力端子について」（32 ページ）をご覧ください。

ワイドテレビとつなぐとき
ワイドテレビと接続するときは、アスペクト比（画面の横：縦比）の異なった映像を自動的に識別する機能（オートワイド）を持つ、テレビの D 端子または HDMI 映像入力端子と接続してください。詳しくは、⇨「本機につなぐテレビの入力端子について」（32 ページ）をご覧ください。

ビデオテープの再生について
本機の映像出力端子と音声出力端子は、VTR の映像と音声も出力します。ただし、HDD/DVD 側に録画をしているときは、「VTR」に切り換えできません。

HDMI端子付きテレビとつなぐ

本機の HDMI 出力端子と**テレビの HDMI 入力端子**を**市販の HDMI ケーブル**でつなぎます。

HDMI 端子は、映像と音声の両方を兼ねているので、接続が 1 本のケーブルで済みます。

- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ (HDMI™) の表示があるケーブルをお使いください。

つなぐのに必要なもの

1 HDMI 接続ケーブル（市販品）

HDMI 接続ケーブル（市販品）

信号

HDMI 出力端子へ

HDMI 入力端子へ

HDMI出力

HDMI入力

テレビ

当社製 REGZA シリーズ (テレビ) とつなぐときは、HDMI 端子を使ってつなぐと「レグザリンク」機能が使えます (レグザリンク対応品に限ります)。レグザリンクについて詳しくは、**⇨「レグザリンク機能について」(36 ページ) をご覧ください。**

D端子付きテレビとつなぐ

本機の D1/D2/D3/D4 映像出力端子と、テレビの D 映像入力端子を、市販の D 端子ケーブルでつなぎます。

- 音声は本機の「出力」にある音声（右（赤）／左（白））出力端子と、テレビの音声（右（赤）／左（白））入力端子を、付属の映像・音声コードでつなぎます。このとき、映像（黄）には、つながないでください。

つなぐのに必要なもの

1 D 端子ケーブル（市販品）

2 映像・音声接続コード（付属品）

D1/D2/D3/D4 映像出力

D1/D2/D3/D4 映像出力端子へ

信号

D 端子ケーブル (市販品)

D 映像入力端子へ

D映像入力

D4 映像

出力 右 音声 左 映像 ▽S映像

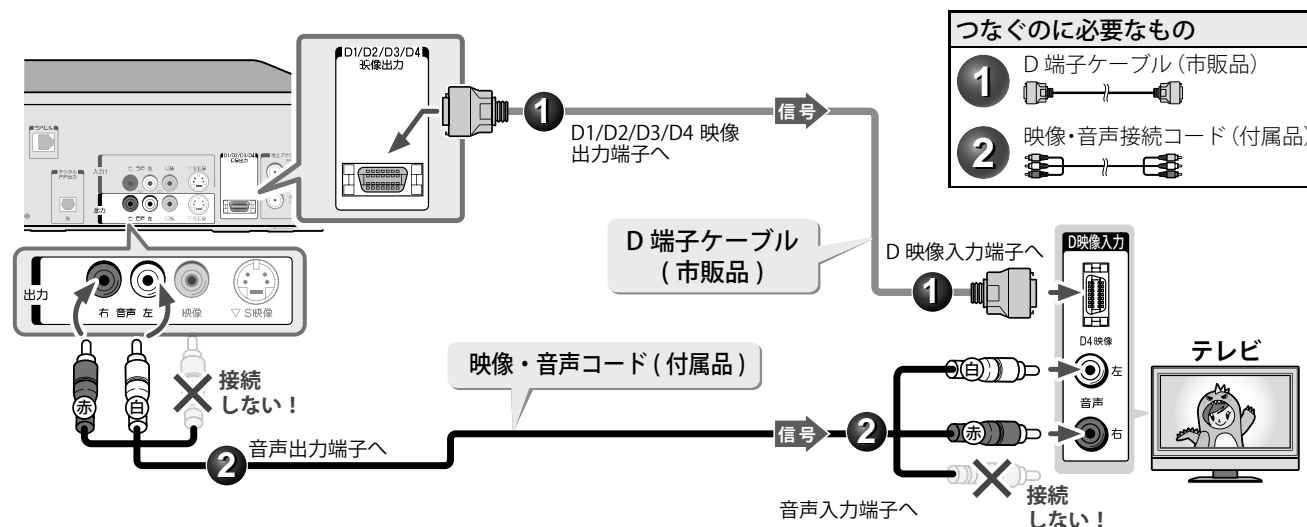
接続しない！

映像・音声コード (付属品)

音声出力端子へ

音声入力端子へ

左 音声 右

テレビ

基本の接続（アンテナ・テレビとつなぐ）・つづき

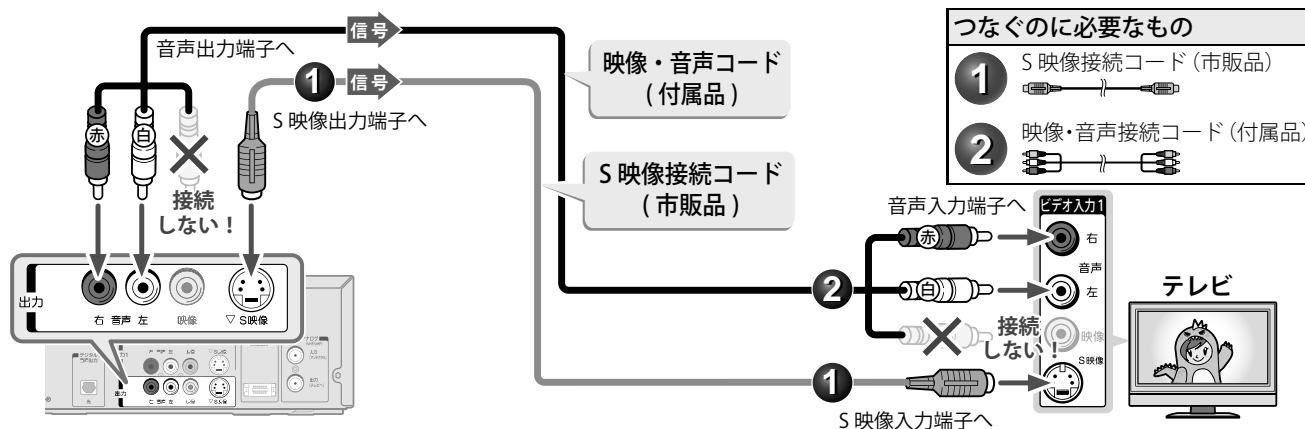
S端子付きテレビとつなぐ

本機の「出力」にある「S 映像」出力端子と、テレビの S 映像入力端子を市販の S 映像接続コードで、つなぎます。

- 音声は本機の「出力」にある音声（右（赤）／左（白））出力端子と、テレビの音声（右（赤）／左（白））入力端子を、付属の映像・音声コードでつなぎます。このとき、映像（黄）には、つながないでください。

つなぐのに必要なもの

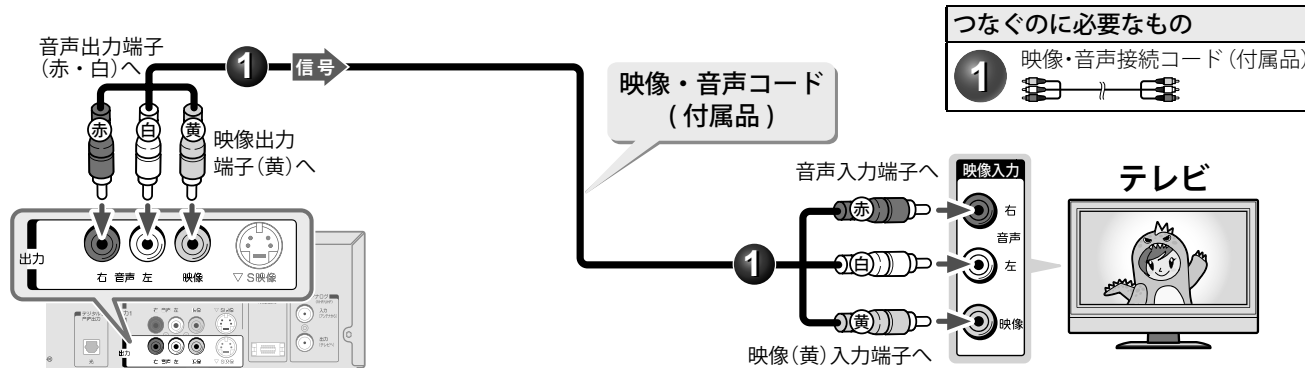
1. S 映像接続コード（市販品）
2. 映像・音声接続コード（付属品）

音声出力端子へ
信号
S 映像出力端子へ
接続しない！
映像・音声コード（付属品）
S 映像接続コード（市販品）
音声入力端子へ
S 映像入力端子へ
テレビ

映像（黄）端子付きテレビとつなぐ

本機の「出力」にある映像（黄）・音声（右（赤）／左（白））出力端子と、テレビの映像（黄）・音声（右（赤）／左（白））入力端子を、付属の映像・音声接続コードでつなぎます。

つなぐのに必要なもの

1. 映像・音声接続コード（付属品）

音声出力端子（赤・白）へ
信号
映像出力端子（黄）へ
映像・音声コード（付属品）
音声入力端子へ
映像（黄）入力端子へ
テレビ

電話回線の接続（双方向通信の接続をする）

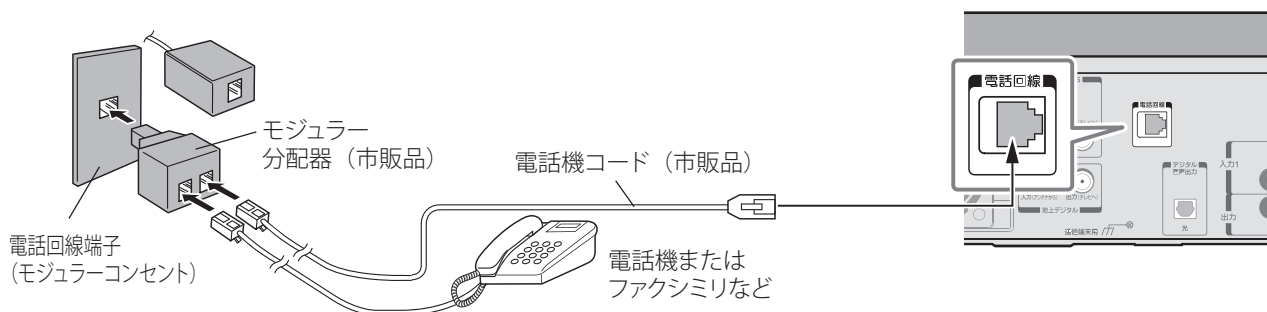
電話回線は、BSまたは110度CSデジタル放送で双方向放送（クイズ番組への参加や通販番組での商品購入など）を利用するときに使用します。

ご注意

- データ放送の通信コンテンツは対応していない場合があります。

■電話回線がモジュラージャックではない場合

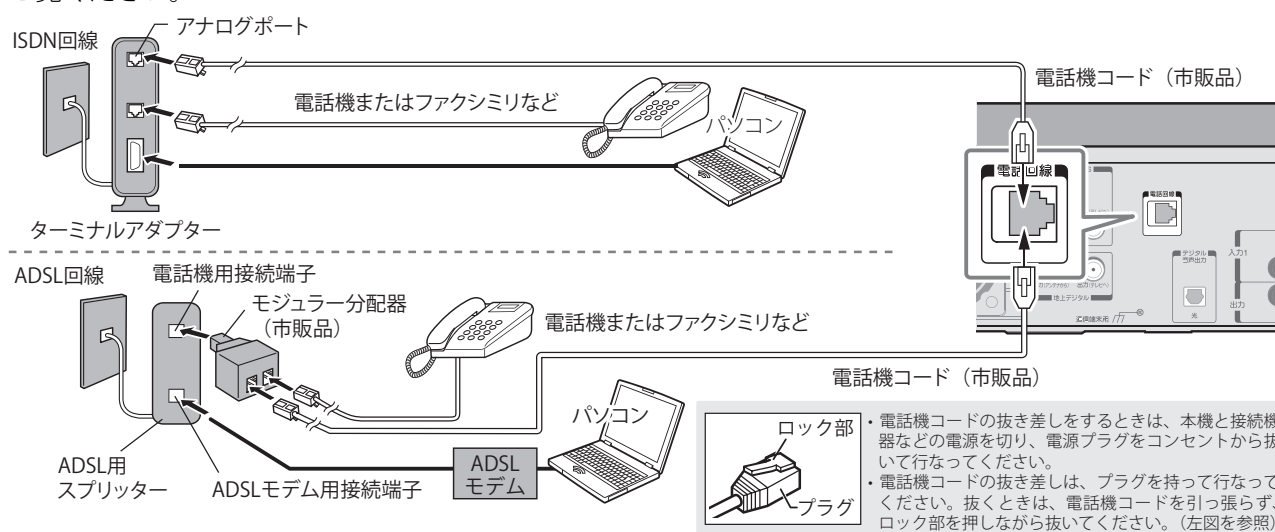
電話回線がモジュラーコンセントでない場合や、電話機の主装置、ターミナルボックス、ドアフォンなどが壁に埋め込まれている場合は、専門業者による工事が必要です。ご加入の電話会社の営業所（NTT の場合は営業所および局番なしの 116 番）にお問い合わせください。

■モジュラージャックの場合

■ISDN 回線または ADSL 回線の場合

ISDN 回線の場合：ターミナルアダプター (市販品) を使用し、本機をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

- ISDN 回線にモジュラー分配器をつないで本機を接続しないでください。

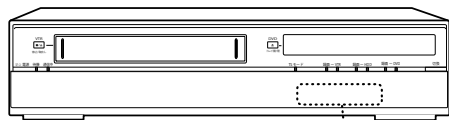
ADSL 回線の場合：ADSL 用スプリッター (市販品) を使用し、ADSL 用スプリッターの電話機用接続端子にモジュラー分配器 (市販品) をつないで本機を接続してください。詳しくは、ADSL 用スプリッターの取扱説明書をご覧ください。

- 電話機コードの抜き差しをするときは、本機と接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 電話機コードの抜き差しは、プラグを持って行なってください。抜くときは、電話機コードを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（左図を参照）

お知らせ

- 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、ビジネスホン、PHSなどの回線には接続できません。ホームテレホンの場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- 本機の通信中は電話機やファクシミリは使用できません。逆に、電話機やファクシミリを使用中は、本機の通信はできません。キャッチホン契約の場合、本機の通信中に電話がかかってくると、本機の通信は終了します（キャッチホンII契約の場合は終了しません）。
- 一部のダイヤル式電話機では、本機が通信をしているときに電話機の呼出音が鳴ることがあります。呼出音が鳴らないようにしたい場合は、市販の電話回線切換器をご使用ください。
- 電話回線に接続の際に工事が必要な場合は有料となります。電話工事には資格が必要です。無資格の方は工事できません。
- ノイズがはいると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

「初回設定」をする前に

付属の B-CAS カードを本体にセットする

B-CAS カードはデジタル放送受信契約のための受信者 ID カードです。デジタル放送、放送局からのお知らせの受信などに必要です。常に本体に入れた状態でお使いください。

前扉を開き、B-CAS カードを挿入口に差し込む

スイッチをロック側にしてください。

「B-CAS」と書かれている側を上にしてください。

- B-CAS カードの登録や取扱いの詳細は、カードが貼ってある台紙をご覧ください。
- 付属の B-CAS カードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をするときに付属の加入申込書に必ず貼ってください。

電源を入れる

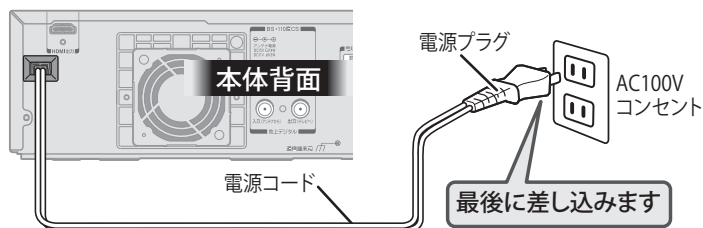
必ずすべての接続が終わったあとに、接続してください。

本体背面

電源プラグ

AC100V コンセント

電源コード

最後に差し込みます

ご注意

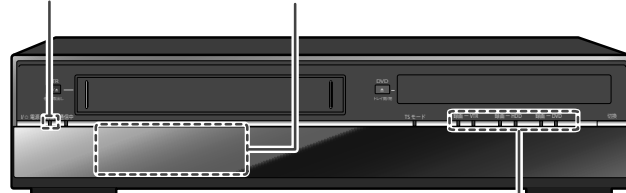
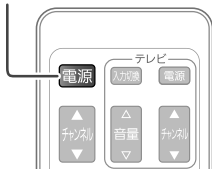
・本機は番組表の情報などを通電状態（電源「入」／「切（待機）」）時に取得します。
長期に渡って使用しないときなどを除いて、常時通電状態でお使いください。

電源を入れる

ビデオ 1

テレビで…

電源を入れて、本機をつないだ入力（例：ビデオ 1）に切り換えてください。
入力の表示は､テレビやつないだ端子によって異なります。本機の画面が映るように切り換えましょう。

電源ボタン　インジケーター　本体表示窓

本体の I/○ 電源 または
リモコン左上の 電源 を押して、
本機の電源を入れる
（切るときも同じ操作です。）

VTR HDD DVD

電源が「入」になると選択されているモードのインジケーター（VTR/HDD/DVD のいずれか）が点灯します。
電源が「切」になるとインジケーターが消灯します。

メモ

本機の電源が「切」のとき　本機は「切」の状態でも、リモコンからの操作 (例 : 電源投入) を受け付けます。また、「切」の状態でも、必要な処理を内部で自動的に行なっている場合もあります。

「初回設定」の操作のしかた

「初回設定」のガイド表示とリモコンのボタン

初回設定
デジタルチャンネル設定
デジタル放送用のチャンネル設定を開始します。
はい
いいえ
選択 決定

設定する項目名が表示されます。

設定する項目に関してのメッセージや選ぶ内容が表示されます。

使えるリモコンボタンのガイドが表示されます。

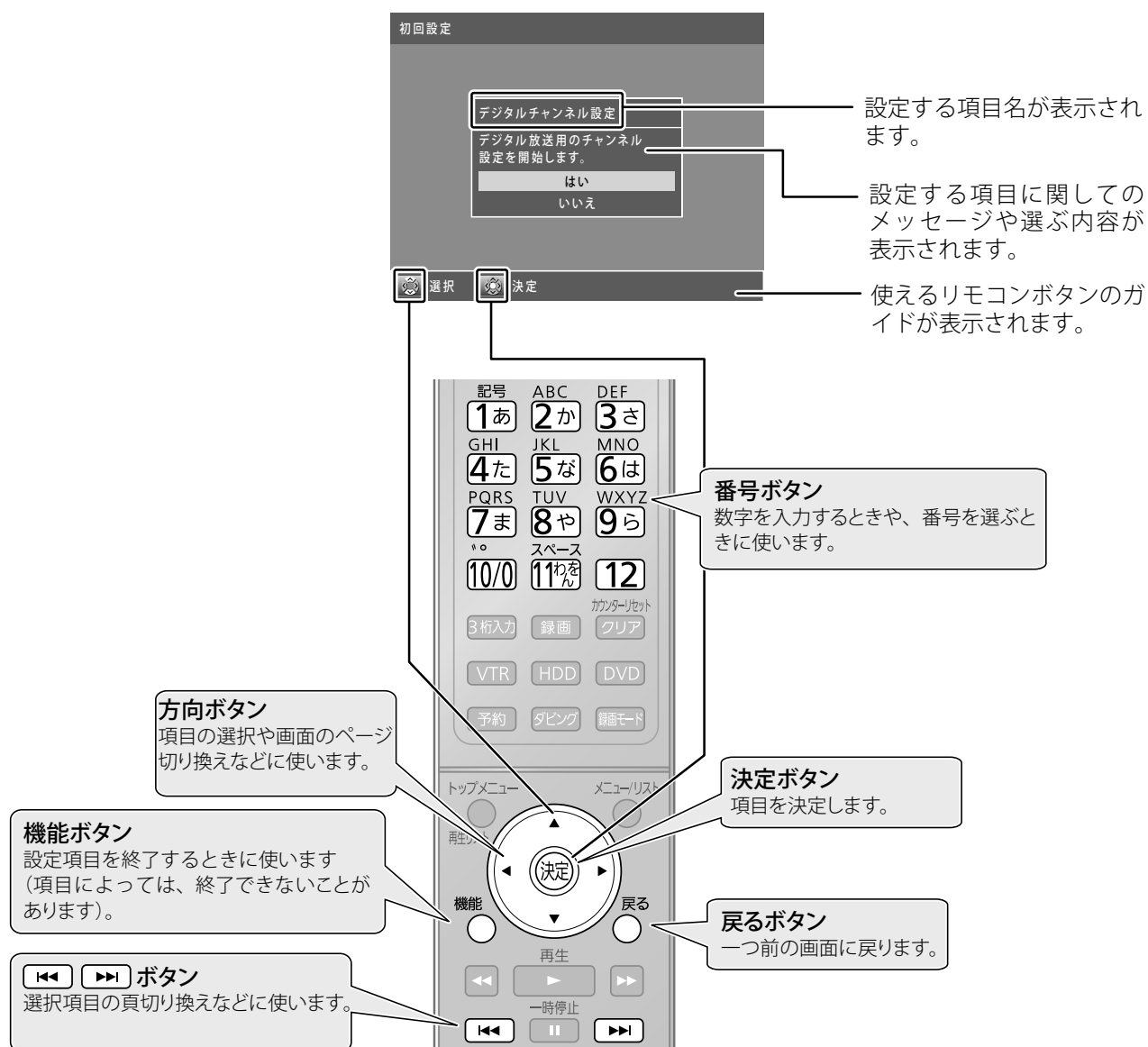
番号ボタン
数字を入力するときや、番号を選ぶときに使います。

方向ボタン
項目の選択や画面のページ切り換えなどに使います。

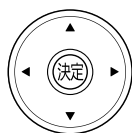
決定ボタン
項目を決定します。

機能ボタン
設定項目を終了するときに使います（項目によっては、終了できないことがあります）。

戻るボタン
一つ前の画面に戻ります。

⏮ ⏭ ボタン
選択項目の頁切り換えなどに使います。

■ 画面上での基本操作 (カーソル移動と決定)

カーソル移動で画面上に表示されている項目を選び、決定を押す操作が基本の操作です。

例

カーソルは▲・▼・◄・►で動かし、項目を設定するときは、決定を押します。

初回設定 設定手順 1・2・3・4
お住まいの地域を設定してください
北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州/沖縄
茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県
確定
選択 決定 決定 ⏮⏭ 地域変更

カーソルが選んでいる項目は、色が他と異なります。

メモ **とばした設定項目をあとから設定したいとき**
「初回設定」で行なう項目は、すべて後からでも設定することができます。詳しくは、⇨「詳しい設定をする（応用の設定）」（37 ページ）をご覧ください。

「初回設定」をする

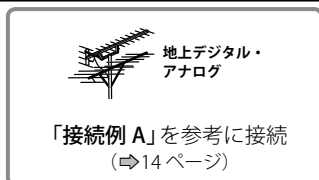
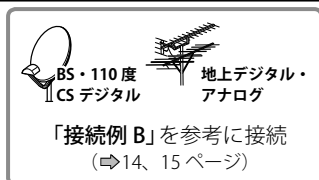
■「初回設定」の設定項目について

ご購入後、はじめて電源を入れると、初回設定画面が表示されます。画面の指示にしたがって進むと、簡単に設定ができます。
項目によっては設定を行なわずに、次の項目に進むこともできます。

「初回設定」の流れ

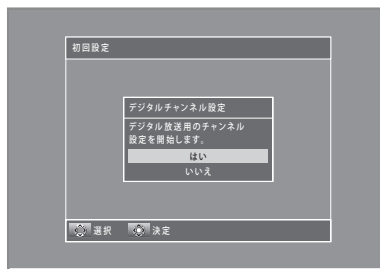
「初回設定」では、本機を使うのに必要な設定を行ないます。受信できる放送や接続した機器によって、設定する項目が異なります。
以下の例では、大まかな設定の流れを説明しています。お使いになる環境にあわせて、画面に沿って項目を選んでいきましょう。また、設定する項目をとばしてもあとからやり直すことができます。

■例）受信できる放送と接続方法

地上デジタル・アナログ
「接続例 A」を参考に接続
（⇨14 ページ）

BS・110 度 CS デジタル
地上デジタル・アナログ
「接続例 B」を参考に接続
（⇨14、15 ページ）

CATV
「接続例 C」を参考に接続
（⇨16、17 ページ）

①チャンネル設定（⇨25ページ）

初回設定
デジタルチャンネル設定
デジタル放送用のチャンネル設定を開始します。
はい
いいえ
選択　決定

地上デジタル放送のチャンネル設定、地上アナログ放送のチャンネル設定の順で設定を行います。

②映像出力端子の設定（⇨26ページ）

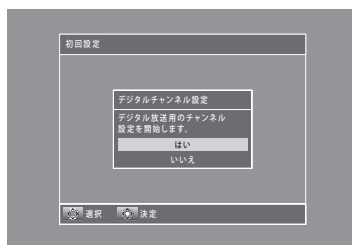
テレビに接続する本機の出力端子を選択します。

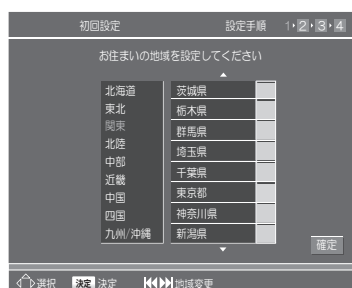
③時計合わせの設定（⇨27ページ）

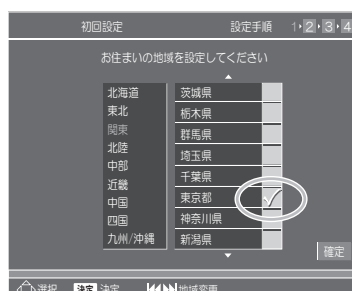
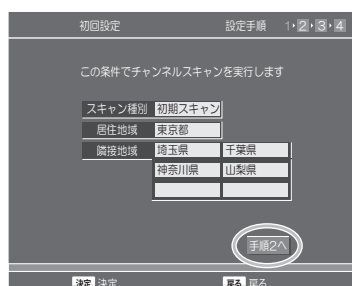
地上デジタル放送のチャンネル自動設定を行わなかった場合にのみ、設定が必要です。

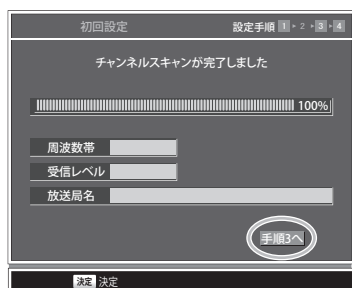
現在時刻の確認をしたら、「初回設定」の完了です。
⇨次ページ以降を参考に、必要な設定をしてください。

① チャンネル設定

地上デジタルチャンネル設定

1 メッセージを確認したあと、【はい】を▲・▼で選び、決定を押す

「初回設定」後に、アンテナを追加して接続したときは ...
- 放送をお楽しみいただくために必要な設定「デジタル設定」メニューで行ないます。

2 お住まいの地域を▲・▼で選び、決定を押す

地方を切り換えるには⏮ ⏭を押します。

3 お住まいの地域にチェックマーク（✓）が付いていることを確認したあと、決定を押す

4 画面を確認したあと、画面右下の【手順2へ】が選ばれていることを確認し、決定を押す

自動的に【隣接地域】が設定され、初期スキャンがはじまります。
初期スキャンには数分かかります。
【再スキャン】については、⇨ 49 ページをご覧ください。
スキャンを途中で中断する場合は、決定を押し、画面の指示にしたがって操作を行なってください。

5 スキャンが終了したら、画面右下の【手順3へ】が選ばれていることを確認し、決定を押す

6 画面右下の【手順4へ】が選ばれていることを確認し、決定を押す

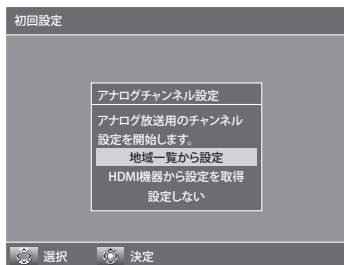
受信したチャンネルが 8 個以上あるときは、◀で【次へ】を選び、決定を押すとチャンネル一覧を切り換えることができます。

「初回設定」をする・つづき

7 画面右下の【確定】が選ばれていることを確認し、決定を押す

確定を行なうと、リモコンの数字ボタンでの選局が可能になります。
地上アナログ放送用の【アナログチャンネル設定】画面が表示されます。以上で、地上デジタル放送のチャンネル設定は完了です。

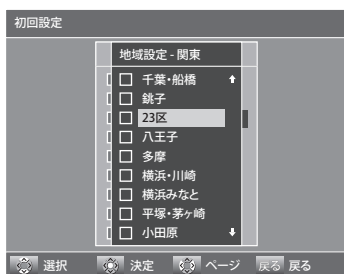
地上アナログチャンネル設定

地上アナログチャンネルをご覧にならない場合は手順 8 で【設定しない】を選び、決定を押して、映像出力端子の設定を行なってください。

8 【地域一覧から設定】を▲・▼で選び、決定を押す

HDMI ケーブルで接続した当社製 REGZA シリーズ（デジタルテレビ）からチャンネル情報を取得する場合は【HDMI 機器から設定を取得】を▲・▼で選び、決定を押します。

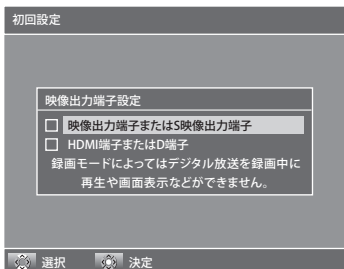
お知らせ

下記の場合は【HDMI 機器から設定を取得】は、グレイ表示となり選択できません。
- HDMI端子が接続されていない場合

9 お住まいの地域を▲・▼で選び、決定を押す

10 お住まいの地域を▲・▼で選び、決定を押す

お住まいの地域が一覧にないときは、放送局がほぼ一致している最寄りの地域を選びます。
【映像出力端子設定】画面が表示されます。以上で、地上アナログ放送のチャンネル設定は完了です。

② 映像出力端子の設定

テレビに接続する本機の出力端子を選択します。

11 テレビと接続している映像端子を▲・▼で選び、決定を押す

時計合わせが必要な場合は【時計合わせ】画面が表示されます。
以上で映像出力端子の設定は完了です。

③ 時計合わせの設定

地上デジタル放送のチャンネル自動設定を行わなかった場合は、映像出力端子設定が終了後、【時計合わせ】設定画面になりますので、時計合わせを行なってください。

初回設定
時計合わせ
---- / -- / -- (-)
-- : --
選択　決定

12 ▲･▼で上段（「日付」）を選び、決定を押す

13 ▲･▼で年を合わせ▶を押す

◀・▶でほかの設定項目へ移動します。

14 同様の操作で月、日、AM/PM、時、分を合わせ、決定を押す

決定を押すと時計のカウントが始まります。

「初回設定」Q&A

よくある質問です。
困ったときや、わからないことがあったときにご参考ください。

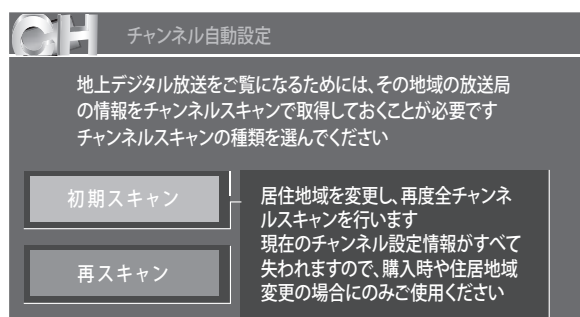
Q *「初回設定」をやり直したいときは？*

A 「初回設定」を再表示することはできません。必要に応じて各設定を行なってください。

デジタル放送（地上 /BS・110 度 CS）関連の設定をする（⇨48 ページ）
地上アナログ放送のチャンネル設定（⇨41 ページ）
映像出力端子の設定をする（⇨40 ページ）
日付と時刻の設定を確認する（⇨39 ページ）

Q *デジタル放送のアンテナ（地上／ BS・110 度 CS）をあとから追加でつないだときは？*

A デジタルチャンネル設定の初期スキャン（48 ページ）を行なってください。

CH チャンネル自動設定
地上デジタル放送をご覧になるためには、その地域の放送局の情報をチャンネルスキャンで取得しておくことが必要です
チャンネルスキャンの種類を選んでください
初期スキャン
再スキャン
居住地域を変更し、再度全チャンネルスキャンを行います
現在のチャンネル設定情報がすべて失われますので、購入時や住居地域変更の場合にのみご使用ください

■本機の番組表について

番組表の情報は放送メディア（地上デジタル、BS・110 度 CS デジタルなど）によって異なります。

Q *デジタル放送の番組表データは何から取得するの？*

A デジタル放送波から番組データを受信します。

- デジタル放送波（地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタル）から送信される番組データを、アンテナから自動的に受信します。
- 8 日分の番組データを取り込みます。（放送局によって変わる場合があります。）
- テレビの放送波を利用して、本機の時刻を自動調整します。
- 番組表からの録画予約中に番組の放送時間に変更があっても、リアルタイムに対応します。

ソフトウェアのバージョンアップについて

お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、東芝が本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
ソフトウェアをバージョンアップするには以下の方法があります。

BS デジタル、または地上デジタル放送の放送波に入れたソフトウェアをダウンロードする	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。

■「ソフトウェアのダウンロード」について

設定メニュー【デジタル設定／機器設定】内にダウンロード設定があります。（設定方法は同ページ「設定の手順」をご覧ください）

●【放送からの自動ダウンロード】

設定を【自動ダウンロードする】にすると、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、自動的にダウンロードさせることができます。自動でダウンロードさせたくないときは【自動ダウンロードしない】に設定すると、ダウンロードを自動的に行ないません。

■ ダウンロードの動作について

- 放送からの自動ダウンロードは、電源が「待機」状態のときにだけ、実行されます。
- 放送からの自動ダウンロードの実行中は本体表示窓に「F-UP」が表示されます。「F-UP」中は、電源の入／切などの操作はできません。
- ソフトウェアのダウンロードと更新についての開始時間や完了などの詳細は、【機能一覧】画面の【お知らせメール】でご確認ください。

ダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。
ソフトウェアのダウンロードの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。動作しなくなった場合は、「東芝 DVD インフォメーションセンター」（⇨裏表紙）にご連絡ください。

●設定の手順

1 **機能 を押して、【デジタル設定】を選び、決定 を押す**

2 **【機器設定】を▲･▼で選び、決定 を押す**

3 **【ダウンロード設定】を▲･▼で選び、決定 を押す**

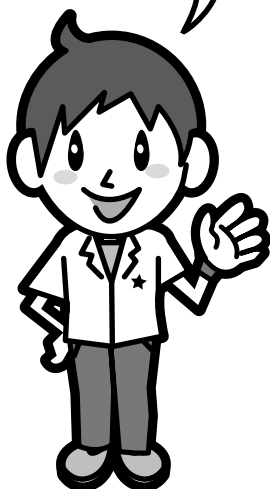
【自動ダウンロードする】【自動ダウンロードしない】を▲・▼で選び、決定 を押します。

お知らせ

- 「放送からの自動ダウンロード」は、悪天候の場合などには実行されないことがあります。

その他の機器とつなぐ（応用の接続）

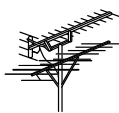
AV アンプなど

テレビのほかに
お手持ちの機器を
つなぐと、楽しみが
広がるよ！

アンテナやテレビと接続するときのヒント

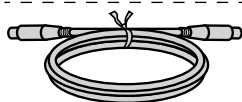
本機に接続できるアンテナの種類、必要なケーブル類やテレビと接続するときの注意やお知らせなど、詳しく知りたいときにご活用ください。

本機に接続できる各放送波用アンテナについて

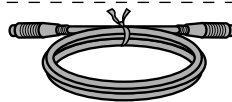
■地上アナログ、地上デジタル、BS・110 度 CS デジタルのアンテナについて

アンテナ	説明
地上アナログ放送用 VHF/地上デジタル放送用 UHF アンテナ	• 地上デジタル放送に対応しているかご確認ください。対応している場合はご使用中のアンテナで受信できますが、アンテナの劣化などで受信できない場合には、新しいアンテナへの交換や、ブースターの設置などが必要です。 • 地上デジタル放送に対応していない場合は、地上デジタル放送に対応したアンテナが必要です。
BS・110 度 CS デジタル対応アンテナ	• BS・110 度 CS デジタル放送の視聴に必要なアンテナです。 （BS・110 度 CS デジタル放送を見るためには、BS・110 度 CS 共用アンテナをお使いください。） • アンテナとの接続には、「BS・110 度 CS デジタル対応同軸ケーブル（市販品）」をお使いください。（BS・110 度 CS デジタル対応同軸ケーブルは、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをお使いください。）

各種放送波用アンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。

接続に必要な同軸ケーブルについて

地上デジタル・アナログ放送のアンテナ端子と接続する場合

同軸ケーブル（付属品）

• 接続する内容によっては、付属の同軸ケーブル以外にも、市販の同軸ケーブルが複数必要になります。地上デジタル／アナログ対応（75 Ω）のものをお使いください。付属品は地上デジタル対応品です。

BS・110 度 CS デジタル放送のアンテナ端子と接続する場合

BS・110 度 CS デジタル対応同軸ケーブル（市販品）

• 接続する内容によっては、対応の同軸ケーブルが複数必要になります。BS・110 度 CS デジタル対応（75Ω）のものをお使いください。

■同軸ケーブル（付属品）について

テレビと接続するときは…

• 同軸ケーブル（付属品）のプラグ部分がテレビのアンテナ入力端子と合わないときは、加工が必要です。販売店にご相談ください。

■同軸ケーブルが F 型コネクタータイプのときは

• 今までお使いの、または市販の同軸ケーブルが F 型コネクタータイプのときは、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけないでください。

F 型コネクター

地上デジタル・アナログ放送用アンテナとの接続には、同軸ケーブルをおすすめします

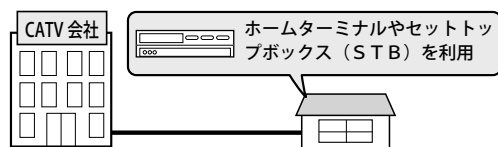
平行フィーダー線を使用すると、受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。

• 平行フィーダー線を使用するときは、平行フィーダー線を BS・110 度 CS デジタル対応アンテナケーブルから妨害を受けない距離まで離してください。（同軸ケーブルを使用する場合でも、妨害を受けるようであれば、BS・110 度 CS デジタル対応アンテナケーブルから離してみてください）
• アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。

平行フィーダー線

CATV(ケーブルテレビ)をご利用の場合

CATV 会社

ホームターミナルやセットトップボックス（STB）を利用

• 各放送波の受信に、アンテナではなく CATV（ケーブルテレビ）のホームターミナル／セットトップボックス（STB）をご利用の場合は、⇨「CATV（ケーブルテレビ）のホームターミナル／セットトップボックス（STB）とのつなぎかた」（16 ページ）ご覧ください。

地上デジタル放送のパススルー方式について

• CATV 会社が地上デジタル放送の伝送方式を**パススルー方式**で行なっている場合、本機で受信できます。パススルー方式とは、地上デジタル放送の周波数帯域・変調方式を変更することなく伝送する方式のことです。

「映りが悪い」「ノイズが出る」などの場合

本機で地上デジタル放送、または BS･110 度 CS デジタル放送を視聴中に、「画質が悪い」、「映像が不安定」「映りが悪い」、「ノイズが出る」などの場合は、以下の方法をお試しください。また、変化がないときは、お買い上げの販売店などにお問い合わせください。

地上デジタル放送	BS・110 度 CS デジタル放送

地上デジタル放送 → ■地上デジタル放送のブースター電源の設定を変更する（下記） → 変化がない → ■ブースターを接続する⇨各放送波対応のブースターを接続する（下記）

BS・110 度 CS デジタル放送 → ■ブースターを接続する⇨各放送波対応のブースターを接続する（下記）

■ 地上デジタル放送のブースター電源の設定を変更する

地上デジタル放送を受信しているとき、アンテナから入る電波が強すぎて、映像が不安定になるときがあります。
受信ができなかったり、映像にノイズが出る…などが起きるときは、以下の設定を行ないます。

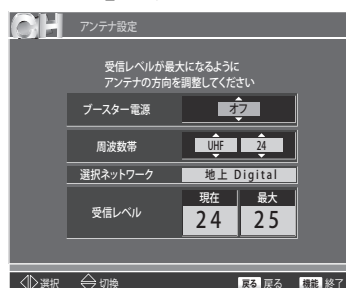
≫準備

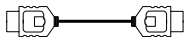
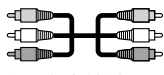
- 以下の操作で「デジタルチャンネル設定」の項目選択画面にする
  ①地デジを押し、地上デジタル放送のチャンネルを選局する
  ②機能を押す
  ③【デジタル設定】を▲･▼･◄･►で選び、決定を押す
  ④【デジタルチャンネル設定】を▲･▼で選び、決定を押す

デジタル設定
お知らせ/情報
デジタルチャンネル設定
■アンテナ設定
■チャンネル自動設定
■地上チャンネルボタン設定
■地上チャンネルスキップ
ユーザ設定
機器設定
選択 決定 決定 戻る 戻る 機能 終了

1 【アンテナ設定】を▲・▼で選び、決定を押す

2 【ブースター電源】を◄・►で選び、▲・▼で設定を「オフ」にする

アンテナ設定
受信レベルが最大になるように
アンテナの方向を調整してください
ブースター電源 オフ
周波数帯 UHF 24
選択ネットワーク 地上 Digital
受信レベル 現在 24 最大 25
選択 切換 戻る 戻る 機能 終了

オン
受信映像に問題がないときに選びます。
- アンテナから入って来たままの電波の強さで受信します。

オフ
受信できなかったり、映像にノイズが出る…といったときに、選びます。
- アンテナから入った電波を減衰させて受信します。減衰することで、混信による障害をおさえます。

3 機能を押して、受信映像に変化がないか確認する

- 【受信レベル】の数値が高いほうに設定することをおすすめします。
- 【オフ】に設定をしても、放送地域や受信環境によっては、変化がない場合もあります。映像が変化しない場合には、【オン】に設定してください。また、変化がないときは、市販のブースターを接続します。詳しくは、下の「ブースターを接続する」をご覧ください。

お知らせ
- 上記の方法を行なっても、設置されているアンテナの精度、放送地域や受信環境によっては、変化がない場合もあります。

■ ブースターを接続する➡各放送波対応のブースターを接続する

本機で地上デジタル放送、または BS・110 度 CS デジタル放送を視聴中に「映りが悪い」、「ノイズが出る」などの場合は、各放送波（地上、BS・110 度 CS デジタル）対応の市販ブースターを使用して、アンテナ線を接続してください。
ブースターに関しては、販売店などにお問い合わせください。

ブースター接続例

壁などにあるアンテナ端子（VHF/UHF） → 地上デジタル対応ブースター → 本機の「地上デジタル入力」端子へ

壁などにあるアンテナ端子（BS・110 度 CS デジタル） → BS・110 度 CS デジタル対応ブースター → 本機の「BS･110度CS入力」端子へ

壁などにあるアンテナ端子（VHF/UHF/BS・110 度 CS デジタル） → 地上デジタル・BS・110 度 CS デジタル対応ブースター → 分波器／分配器
- U/V → 本機の「地上デジタル入力」端子へ
- BS・CS → 本機の「BS･110度CS入力」端子へ

アンテナやテレビと接続するときのヒント・つづき

本機につなぐテレビの入力端子について

■本機の映像出力端子と画質について

本機は、ハイビジョン高画質放送に対応しています。また対応する出力端子を備えています。お使いのテレビの接続端子に合わせて、ケーブルやコード、接続方法を、以下の表をご参照のうえお選びください。

接続おすすめ度	接続に使うケーブル／コードと対応画質について		オートワイド機能	特徴
一番 おすすめ！	高画質対応	HDMI ケーブル （市販品） HD ／ SD 画質に対応	対応	**HDMI ケーブルで接続する（⇨19 ページ）** 本機の映像をお楽しみいただくのに、一番おすすめの接続方法です。HDMI 端子は、映像と音声の両方の信号に対応しているので、1 本のケーブルで接続が済みます。 また、本機が出力できるすべての映像解像度に対応しています。 レグザリンク機能（⇨36 ページ）に対応した当社製 REGZA シリーズ（テレビ）と接続すると、テレビから連動して操作するなどが可能になります。
次に おすすめ！		D 端子ケーブル （市販品） HD ／ SD 画質に対応	対応	**D 端子ケーブルで接続する（⇨19 ページ）** 本機の D 端子は、480 i（インターレース：D1）から 720 p（プログレッシブ：D4）までに対応しています。 市販の DVD ビデオディスクなどには、制作側によって解像度制限があるものがあります。その場合、再生時に制作側が許可している解像度に、自動的に変更されることがあります。 音声の接続も必要です。
上の二つの端子が テレビに無いときに		S 映像接続コード （市販品） SD 画質に対応	対応	**S 映像接続コードで接続（⇨20 ページ）** コンポジット映像（黄）端子よりも画質はきれいですが、S 端子はハイビジョン映像をそのままの画質で楽しむことができません。 映像解像度は 480 i（インターレース：D1）のみです。 音声の接続も必要です。
上の三つの端子が テレビに無いときに	標準画質対応	映像・音声接続コード （付属品） SD 画質に対応	非対応	**映像・音声接続コードで接続（⇨20 ページ）** ほとんどのテレビやモニターなどにあるのが、コンポジット映像（黄）端子です。コンポジット映像（黄）端子では、ハイビジョン映像をそのままの画質で楽しむことができません。 映像解像度は 480 i（インターレース：D1）のみです。

HD：高画質デジタルハイビジョン放送／ SD: 標準テレビ放送

※ HDMI 端子と D 端子を同時に接続しているときは、D 端子からは映像が出力されません。

■ワイドテレビと接続するときは（オートワイド機能対応端子について）

ワイドテレビと接続するときは、アスペクト比（画面の縦：横比）の異なった映像を自動的に識別する機能（オートワイド）を持つ、テレビの D 端子または HDMI 映像入力端子と接続してください。
ワイド放送や市販の DVD ビデオディスクのなかには、映像がフルモードで記録されたものがあります。このような場合には、D 端子または HDMI 映像端子で接続していると、再生時にワイドテレビ画面で自動的に 16:9 のアスペクト比で映像を表示します。

■HDMI 端子や D 端子をおすすめする理由

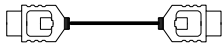
ハイビジョン画質対応のテレビとつないで美しい映像が楽しめる！

480 pの映像や、ハイビジョン高画質映像の番組をお楽しみになるには、高解像度（720 p、1080 i）に対応したテレビ（プログレッシブ方式テレビやハイビジョン対応テレビ）を、本機の HDMI 端子（⇨19 ページ）または D 端子（⇨19 ページ）とつないでお使いになることをおすすめします。
これら以外のテレビでは、ハイビジョン高画質映像番組を見ることはできますが、ハイビジョン映像そのままの画質でご覧いただくことはできません。

■HDMI ケーブルで接続するときの確認と注意

HDMI とは？

デジタル家電／ AV 機器間をデジタル信号でつなぐことができるインターフェイス（接続システム）です。
HDMI 端子付きのテレビやモニター、AV アンプと本機の間を、HDMI ケーブル（市販品）を使って接続することで、デジタル映像／音声信号を高品質のまま伝送することができます。また本機は、著作権保護技術である HDCP を採用しています。接続できる機器は、HDCP 機能に対応したものに限ります。HDCP 機能に対応していない機器との接続性は保証していません。接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。

- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（HDMI™）の表示があるケーブルをお使いください。
- 本機の HDMI 出力端子は DVI 入力端子付テレビやモニター、HDMI-DVI 変換ケーブルには対応していません。
- HDMI は新しい技術です。今後、HDMI の技術が進歩した場合、本機では対応できなくなることがあります。

■市販の DVD ビデオディスクなどをお楽しみいただくときの注意

市販の DVD ビデオディスクなどには、コピーコントロール情報、出力解像度制限情報などが含まれており、本機はこれらの情報に準じて映像を出力します。ディスク製作者側が出力解像度制限により、D 端子からのアナログハイビジョン出力を禁止している場合、出力方式は、「480p（D2）」に自動的に切り換わります。映像出力の解像度（1080i（D3）／720p（D4））でお楽しみいただくには、HDCP 対応の HDMI 端子付き機器（1080i（D3）／720p（D4））との接続をおすすめします。

本機の映像出力端子と画質について（端子に合った映像出力信号に切り換える）

■接続した端子に合わせて解像度の設定をする

テレビとの映像接続方法	必要な設定（⇨操作編 125 ページ）
「映像・音声接続コード」の映像（黄）で接続	【セットアップメニュー】の【映像・音声設定】内にある【映像出力端子設定】を【映像出力端子または S 映像出力端子】に設定
「S 映像接続コード」で接続	

テレビとの映像接続方法	必要な設定（⇨操作編 125 ページ）
「D 端子ケーブル」で接続	【セットアップメニュー】の【映像・音声設定】内にある【映像出力端子設定】を【HDMI 端子または D 端子】に設定
「HDMI 接続ケーブル」で接続	

■D 端子からの出力に必要な設定について

【セットアップ】＞【映像・音声設定】＞【D 端子解像度設定】を設定してください。（⇨39 ページ）

設定	出力信号
D1	インターレース：480i
D2	プログレッシブ：480p
D3	インターレース：1080i
D4	プログレッシブ：720p

- D 端子でテレビなどと接続したときは、機器のスキャン方式に合った映像信号が出力されるよう信号の種類を選んでください。

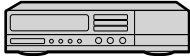
■HDMI 端子からの出力に必要な設定について

【セットアップ】＞【HDMI】＞【HDMI 解像度設定】を設定してください。（⇨**操作編 127 ページ**）

設定	出力信号
自動	本機側で解像度が自動的に設定されます。
480p 固定	480p の映像信号を出力します。

お知らせ

- 接続するテレビやモニターなど、機器の特性、映像ソースの解像度（普通のテレビ放送やハイビジョン放送）、本製品の映像出力の解像度（480i（D1）～ 720p（D4））の組み合わせによっては、高い解像度の出力が最適ではないこともあります。お好みに合わせて、出力の解像度を切り換えてお楽しみください。

本機に接続できる外部機器について

接続できる機器の確認

本機に接続できるおもな外部機器は以下のとおりです。接続や設定のしかたはそれぞれの参照ページをご覧ください。

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機

接続できる外部機器や端子			
ホームターミナル／セットトップボックス CATV チューナー	VHS ビデオデッキ ビデオデッキ など	デジタル音声入力端子（光）付き HDMI 入力端子付き AV アンプ	モジュラージャック 電話回線
接続： 16 ページ	操作編 116 ページ	接続： 35 ページ 設定： 45 ページ	接続： 21 ページ 設定： 52 ページ

お知らせ

- 外部機器を接続するためのコードやケーブルは、接続する機器や設置条件に合わせて、市販の適切なものを別途お買い求めください。
- 接続機器の音声出力がモノラルのときは、市販のステレオ／モノラル変換コードをご使用ください。
- 録画が禁止されている番組や映像ソフトなどは、本機の内蔵HDDおよび各DVD、VTRに録画できません。

AV アンプと接続する

ドルビーデジタル、AAC、DTS 音声などに対応した AV アンプと接続して、5.1ch などのマルチチャンネルサウンドを楽しめます。

- デジタル音声出力をお使いになるときは、対応した AV アンプが必要です。

デジタル音声出力端子を使う

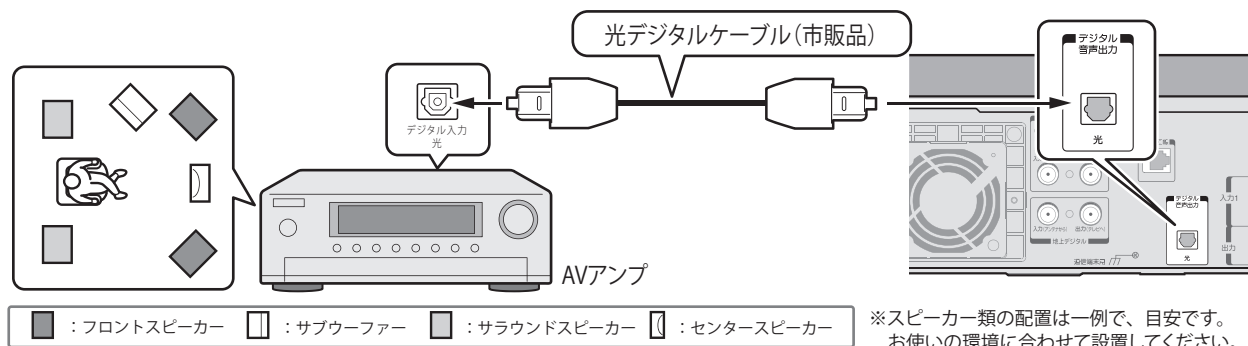
光デジタルケーブル（市販品）

デジタル入力 光

AVアンプ

デジタル音声出力 光

：フロントスピーカー　：サブウーファー　：サラウンドスピーカー　：センタースピーカー

※スピーカー類の配置は一例で、目安です。
お使いの環境に合わせて設置してください。

■ 必要な設定について

【セットアップ】＞【映像・音声設定】＞【音声設定】で【Dolby Digital】、【AAC】、【DTS】の設定を行なってください。
（⇨45 ページ）

ご注意

デジタル音声出力端子を使うときの注意

- 本機のデジタル音声出力（光）端子に、ドルビーデジタル、AAC、DTSのデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、【ドルビーデジタル】、【AAC】、【DTS】の設定を必ず【PCM】または【切】にしてください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。

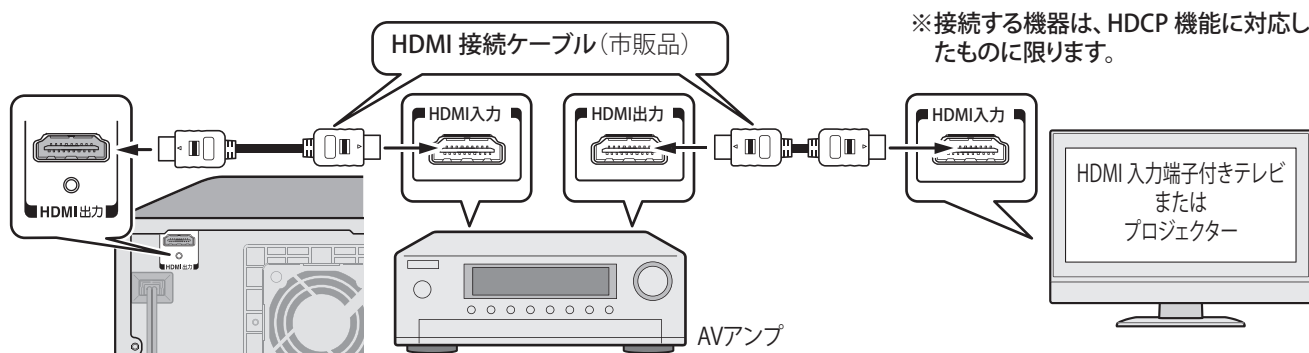
HDMI端子を経由する

HDMI 接続ケーブル（市販品）

※接続する機器は、HDCP 機能に対応したものに限ります。

HDMI出力　HDMI入力　HDMI出力　HDMI入力

HDMI 入力端子付きテレビ
または
プロジェクター

AVアンプ

■ 必要な設定について

【セットアップ】＞【HDMI】＞【HDMI 音声設定】を設定してください。（⇨45 ページ）

本機に接続できる外部機器について・つづき

レグザリンク機能について

レグザリンクとは？

レグザリンク機能に対応した当社製 REGZA シリーズ (テレビ) と本機を HDMI ケーブルで接続することで、テレビとの連動操作が可能になる機能です。テレビの詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

レグザリンク対応の REGZA シリーズ機種について（2009 年 7 月現在）
ZX8000 シリーズ、ZH8000 シリーズ、Z8000 シリーズ、H8000 シリーズ、C8000 シリーズ、A8000 シリーズ

■ こんな機能が使えます

レグザリンク機能 その 1 テレビの入力を自動で切り換えます

再生 などのボタンを押すと、テレビの画面が本機の画面に自動的に切り換わります。

レグザリンク機能 その 2 テレビの番組表を使って本機に予約ができます

テレビの番組表を見ているときに気になる番組があったときは、予約登録すると本機に録画予約することができます。

レグザリンク機能 その 3 テレビのリモコンを使って本機を操作できます

テレビのリモコンを使って、本機に録画されている番組の再生などができます。

※テレビのリモコンを使って本機を操作できる機能については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

レグザリンク機能 その 4 テレビが電源「切」になると連動して本機も「切」状態になります

本機はテレビに映像を映し出すのが仕事なので、映し出し先が「切」状態だと、電源を「入」にしていても、意味がありません。節電対策としても使える機能です。

レグザリンク機能 その 他 テレビの地上アナログチャンネル設定から設定情報を取得して、本機の地上アナログチャンネル設定を自動で行なうことができます。（➡42 ページ）

本機とテレビの接続のしかた

HDMI 接続ケーブル（市販品）を使って、テレビ（HDMI 入力端子）と本機（HDMI 出力端子）を接続します。

詳しく知りたい！

- **接続方法** ⇨「HDMI 端子付きテレビとつなぐ」（19 ページ）
- **HDMI 端子について** ⇨「本機につなぐテレビの入力端子について」（32 ページ）

本機の設定のしかた

1. **本機とテレビの電源を入れる**
2. **テレビの設定を行なう（接続したテレビの取扱説明書をご覧ください）**
3. **本機の設定を行なう**
   - **レグザリンク機能のための設定です。⇨ 操作編「機能の設定と変更」の「HDMI 機器制御」（127 ページ）をご覧ください。**

   →「入」を選びます。

   ※本機能を使用しないときは、「切」を選びます。

■ レグザリンク機能を使って操作する

下記のボタンを押すと、それぞれ対応する画面が表示されます。テレビの電源が「切」状態のときは、「入」状態になり、画面が表示されます。

- テレビの画面も、本機を接続した HDMI 入力に切り換わります。

対応のリモコンボタン	再生 ►	電源	機能	予約	ダビング	番組表	トップメニュー 再生リスト

- 上記のボタンを押しても、本機が動作しているときなどは、機能しない場合があります。

本機の電源を自動的に「切」にする

テレビの電源を「切」にすると連動して本機の電源も「切」状態にします。

- 本機が録画中および録画準備中、ダビング中など、本機が動作しているときは、「切」状態になりません。

テレビのリモコンを使って本機を操作する

テレビのリモコンを使った操作は、テレビの取扱説明書をご覧ください。

レグザリンク機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用した HDMI で規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC 規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動操作が行なえますが、当社対応品以外については動作を保証するものではありません。

詳しい設定をする（応用の設定）

設定メニューを表示する

「セットアップ」「デジタル設定」メニューから、お好みに合わせて本機の設定を変更することができます。
手順にしたがってメニューを表示し、各項目の設定を変更します。

基本の操作ボタン

入力切換（準備）

その他の便利なボタン

選択項目の移動：
選択項目の頁切り換えなどに使用します。

戻る

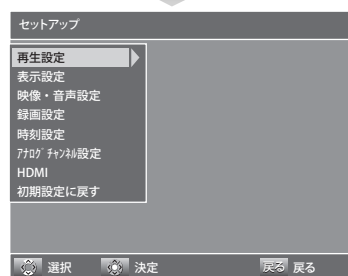
戻る：
前の画面に戻ります。（画面によっては、戻らないことがあります）

機能

機能：
メニュー画面の表示、設定項目の終了を行ないます。（項目によっては、終了できないことがあります）

「セットアップ」メニューを表示する（基本の操作）

≫準備

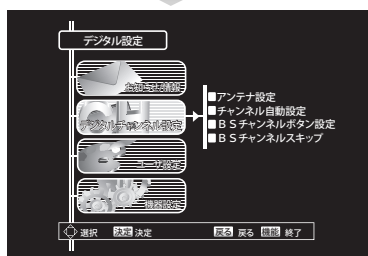
- テレビの電源を入れて、テレビ側の『入力切換』で本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換える

1 機能 を押す

2 【セットアップ】を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す

「セットアップ」メニューが表示されます。
この画面から、デジタル放送関連以外の設定ができます。

「デジタル設定」メニューを表示する（基本の操作）

≫準備

- テレビの電源を入れて、テレビ側の『入力切換』で本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換える

1 機能 を押す

2 【デジタル設定】を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す

「デジタル設定」メニューが表示されます。
この画面から、デジタル放送関連の設定ができます。

日付と時刻の設定を確認する

本機ではあらかじめおおまかな時刻設定がされていますが、ずれている場合や設定されていなかった場合は、以下の手順で確認と設定をしてください（長時間電源の入らない状態が続いたときは、時刻設定を確認してください）。デジタル放送を受信している場合は、電源を入れるたびに時計を自動的に合わせるため、時間を合わせる必要はありません。

≫準備

- 以下の操作で「時刻設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す
  ③【時刻設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1 【時計合わせ】を▲·▼で選び、決定を押す

2 決定を押す

選択範囲が段全体から【2009】（西暦）のみに換わり設定可能になります。

3 日付・時刻設定をする

◀・▶ ：【西暦】【月】【日】【AM/PM】【時】【分】の項目を選びます。
▲・▼ ：選んだ項目の値を変更します。
すべての入力が終わったら決定を押します。

セットアップ
再生設定
表示設定
映像・音声設定
録画設定
時刻設定
ｱﾅﾛｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ設定
HDMI
初期設定に戻す
時計合わせ
自動時刻設定
時計合わせ
2009 / 1 / 1（木）
AM 1:07
選択　決定　戻る 戻る

お知らせ
- 本機のカレンダー機能は2058年まで対応しています。

■ 自動で時刻を修正したいときは（自動時刻修正）

1 【自動時刻修正】を▲·▼で選び、決定を押す

2 【入】を▲·▼で選び、決定を押す

自動時刻修正
☑ 入
☐ 切

3 NHK教育テレビの表示チャンネルを▲·▼で選び、決定を押す

設定チャンネル
CH 3

設定が完了すると手順 1 の画面に戻ります。

お知らせ
- 自動時刻修正とはNHK教育テレビの時報に合わせて、本機の時計を自動修正する機能です。
- 本機の電源が切れた状態の場合、毎日正午に、NHK教育テレビの「ポッポッポッポーン」（音楽なし）の時報が鳴ったときにだけ、時刻を修正します。
- 高校野球シーズンなどは時報が放送されないことがあり、現在時刻とのずれが生じます。
- 時刻修正が正しく実施されない場合は（⇨操作編139ページ）をご覧ください。

D 端子解像度を設定する

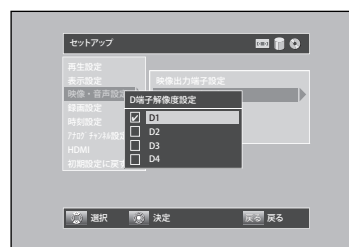
本機とつないでいるテレビの D 映像端子に合わせるための、本機の D 映像出力端子の種類を設定します。

≫準備

- 以下の操作で「映像・音声設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す
  ③【映像·音声設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1 【D 端子解像度設定】を▲·▼で選び、決定を押す

2 ご使用のテレビに合わせ【D1】～【D4】を▲·▼で選び、決定を押す

セットアップ
再生設定
表示設定
映像・音声設定
録画設定
時刻設定
ｱﾅﾛｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ設定
HDMI
初期設定に戻す
映像出力端子設定
D端子解像度設定
☑ D1
☐ D2
☐ D3
☐ D4
選択　決定　戻る 戻る

3 メッセージを確認後、【はい】を▲·▼で選び、決定を押す

ご注意

※本機とテレビを D 映像端子でつないでいるときのみ必要です。
- **設定が合っていないと映像が正常に映らなくなります。**
- この場合は、リモコンの一時停止を 4 秒以上押したままにしてください。お買い上げ時の設定に戻ります。
- **本機でプログレッシブ映像を楽しむことができる条件について**

次の接続・設定をすべて行なっているときにのみ、地上アナログ放送の再生映像または DVD ビデオソフトなどの映像を、プログレッシブ映像で楽しむことができます。
- D2（480p）以上対応でマクロビジョンコピーガードに対応したプログレッシブ対応テレビと D 端子ケーブルで接続している。
- 本機側の【D 端子解像度設定】を【D2】、【D3】または【D4】にしている。
- **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**

プログレッシブ対応テレビによっては、本機との組み合わせでは正しく再生できないことがあります。この場合は、本機の【D 端子解像度設定】を【D1】にしてお使いください。
- **正しい画面サイズ（画角、画面の縦横比）でプログレッシブ映像を見るには**
  - 画面サイズを調整できるテレビのときは、テレビ側で画角を調整してください。
  - 画面サイズを調整できないテレビのときは、本機の【D 端子解像度設定】を【D1】にしてください。

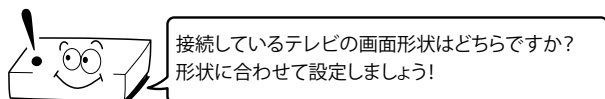
お使いのテレビがプログレッシブ映像の画面サイズを調整可能なテレビかどうかは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

各設定をお好みに変更する（セットアップメニュー）・つづき

テレビの画面比に合わせて映像サイズを設定する（テレビ画面サイズ設定）

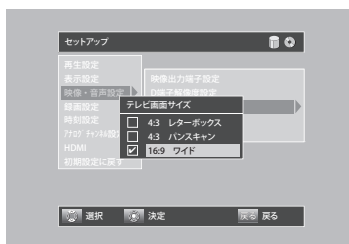
16：9 テレビ　4：3 テレビ

接続しているテレビの画面形状はどちらですか？
形状に合わせて設定しましょう!

≫準備

- 以下の操作で「映像・音声設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲･▼･◄･►で選び、決定を押す
  ③【映像・音声設定】を▲･▼で選び、決定を押す

1 【テレビ画面サイズ】を▲･▼で選び、決定を押す

2 接続しているテレビに合わせて設定を▲･▼で選び、決定を押す

セットアップ
再生設定
表示設定
映像・音声設定
録画設定
時刻設定
ｱﾅﾛｸﾞ ﾁｬﾝﾈﾙ設定
HDMI
初期設定に戻す
映像出力端子設定
D端子解像度設定
テレビ画面サイズ
4:3　レターボックス
4:3　パンスキャン
16:9　ワイド
選択　決定　戻る 戻る

3 機能を押す

通常画面に戻ります。

■「テレビ画面サイズ」を設定するときは

テレビの画面形状	設定項目	説明
4 / 3 横が 4、縦が 3 の画面比が 4：3 のテレビ	4：3 レターボックス	**4：3 テレビに本機を接続しているとき** 再生したワイド映像を、テレビ画面に対して横長に表示します。上下に帯がつきますが、正しく見えます。
	4：3 パンスキャン	**4：3 テレビに本機を接続しているとき** 再生したワイド映像を、テレビ画面全体に表示します。 画面の片側または両側の映像部分がカットされます。
16 / 9 横が 16、縦が 9 の画面比が 16：9 のテレビ	16：9 ワイド	**16：9 ワイドテレビに本機を接続しているとき**

※画面比について詳しくは、⇨70 ページをご覧ください。

お知らせ

- 実際に映し出される映像の形状は、放送・外部入力の信号の種類や、接続しているテレビの設定によっても変わりますので、テレビ側の取扱説明書をご覧ください。
- 再生できる画面形状があらかじめ決められている市販のDVDビデオディスクなどの場合、設定した画面形状どおりに再生されないことがあります。
- D端子解像度設定が【D3】または【D4】に設定されている場合、この設定は選択できません。（【D3】、【D4】出力時は常に【16:9ワイド】の設定になります。）
- テレビ放送の視聴時は、「4:3パンスキャン」に設定している場合でも「4:3レターボックス」で映像が出力されます。
- 「 映像出力端子設定」を「映像出力端子またはS映像出力端子」に設定し、さらにデジタル放送の16:9ワイド映像を視聴・録画(TSモード以外)する場合には、「16:9ワイド」に設定してください。
- 「 映像出力端子設定」を「映像出力端子またはS映像出力端子」に設定している場合、TSモードで録画された番組は、「4:3パンスキャン」が有効になりません。

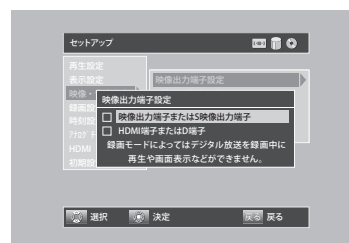
映像出力端子の設定をする

≫準備

- 以下の操作で「映像・音声設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲･▼･◄･►で選び、決定を押す
  ③【映像・音声設定】を▲･▼で選び、決定を押す

1 【映像出力端子設定】を▲･▼で選び、決定を押す

2 テレビと接続している映像端子を▲･▼で選び、決定を押す

セットアップ
再生設定
表示設定
映像出力端子設定
映像出力端子またはS映像出力端子
HDMI端子またはD端子
録画モードによってはデジタル放送を録画中に再生や画面表示などができません。
選択　決定　戻る 戻る

3 機能を押す

通常画面に戻ります。

地上アナログ放送のチャンネル設定（セットアップメニュー）

テレビと同じように各放送局を受信できるように、本機のチャンネルを合わせます。チャンネル合わせは、お住まいの地域名を選択することで、自動的に行なわれます。
「初回設定」で地上アナログのチャンネル設定を行なわなかったときや、変更があるときは、ここで設定または変更をしてください。

自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する

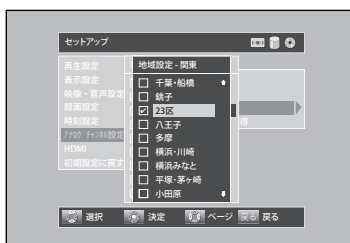
お住まいの地域名を選択すると、自動的に地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。
転居などで受信できるチャンネルが変わったときに、この設定を行なってください。

≫準備

- 以下の操作で「アナログチャンネル設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す
  ③【アナログチャンネル設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1 【地域設定】を▲·▼で選び、決定を押す

2 お住まいの地域を▲·▼で選び、決定を押す

3 お住まいの地域を▲·▼で選び、決定を押す

お住まいの地域が一覧にないときは、放送局がほぼ一致している最寄りの地域を選びます。
設定が完了すると準備③の画面に戻ります。

4 機能を押す

通常画面に戻ります。

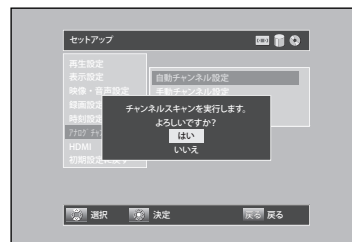
自動チャンネル設定を行なう

「自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する」を行なってもお住まいの場所のチャンネルが受信されないときは、この設定を行なってください。

≫準備

- 以下の操作で「アナログチャンネル設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す
  ③【アナログチャンネル設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1 【自動チャンネル設定】を▲·▼で選び、決定を押す

2 ▲·▼で【はい】を選び、決定を押す

チャンネルサーチが開始され、終了すると手順1の画面に戻ります。
終了するまで、しばらく時間がかかります。
VHF（1 ～ 12 チャンネル）→ UHF（13 ～ 62 チャンネル）→ CATV（C13 ～ C63 チャンネル）の順に、本機で受信可能なチャンネルを設定していきます。
自動設定を途中でやめるときは、戻るを押します。この場合は、戻るを押した時点までのチャンネルが設定されます。
【自動チャンネル設定】後、映りの悪いチャンネルがある場合や、チャンネル表示（番号）を変更したいときは、「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」（⇨43 ページ）の手順にしたがい、変更してください。

3 機能を押す

通常画面に戻ります。

メモ
【自動チャンネル設定】中は、ほかの操作をしないでください。正常なチャンネルに設定されないことがあります。
本機は、最大 36 チャンネル分まで記憶できます。【自動チャンネル設定】中に 36 チャンネル分を記憶したときは、そこで自動設定は終了します。
【自動チャンネル設定】でチャンネルを設定する場合は、アンテナが接続された状態で放送のある時間帯に必ず行なってください。放送が受信されないと、チャンネルが飛ばされるように設定されて、選べなくなります。

HDMI 機器から設定の取得を行なう

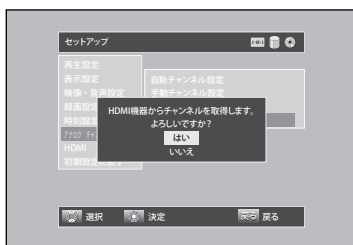
当社製 REGZA シリーズ（デジタルテレビ）に HDMI ケーブルで接続している場合、デジタルテレビからチャンネル情報を取得することができます。

≫準備

- 以下の操作で「アナログチャンネル設定」の項目選択画面にする
  ①（機能）を押す
  ②【セットアップ】を▲･▼･◀･▶で選び、（決定）を押す
  ③【アナログチャンネル設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す

1 【HDMI機器から設定を取得】を▲･▼で選び、（決定）を押す

2 メッセージを確認後、▲･▼で【はい】を選び、（決定）を押す

セットアップ
再生設定
表示設定
映像・音声設定
録画設定
時刻設定
アナログ チャ
HDMI
初期設定に戻す
自動チャンネル設定
手動チャンネル設定
HDMI機器からチャンネルを取得します。
よろしいですか？
はい
いいえ
選択 決定 戻る

チャンネル取得を開始します。

正常に完了した場合は、”チャンネル設定が完了しました。”と表示されます。
取得に失敗した場合は、”チャンネル設定の取得に失敗しました。HDMI 機器との接続を確認してください。”と表示されます。

3 （決定）を押す

手順 1 の画面に戻ります。
取得に失敗した場合は、HDMI 機器との接続を確認し、再度設定を行なってください。

メモ
下記の場合は【HDMI 機器から設定を取得】は、グレイ表示となり選択できません。
- HDMI 端子が接続されていない場合
- 【映像出力端子設定】が【映像出力端子または S 映像出力端子】に設定されている場合
- 【HDMI 機器制御】が【切】に設定されている場合

放送が受信できるか確認する

設定した地域名で地上アナログ放送が受信できるか確認します。

≫準備

「セットアップ」メニューが表示されているときは、（機能）を押して終了する。

1 （アナログ）を押して、「地上アナログ」を選ぶ

2 （チャンネル▲▼）を押して、放送が受信できるか確認する

うまく受信できない場合は近隣の地域名でお試しください。
また、受信できない放送局があるときや、チャンネルが違っているときは、⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」（43 ページ）をご覧ください。

お知らせ
- マンション居住やCATVにご加入のときは、お住まいの地域でなくCATV会社などの設定している地域を選ぶ場合があります。（例：東京の多摩地区にお住まいでも、「多摩」でなく「23区」を選ぶ場合があります。）
- CATVなどによる難視聴対策を行なっている地域では、記載されている地域名では受信できない場合があります。たとえばUHFチャンネル（⇨「地域名と放送局一覧表」（64ページ）の受信CHの欄で13以上の数字が記入されているチャンネル）だけが映らない場合は、難視聴対策地域であることが考えられます。その場合は手動でチャンネルを設定してください。（手動で設定する場合は、受信CHを1～12の間で変更して受信内容を確認するか、お使いのテレビまたはビデオデッキなどの設定を参考にして設定してください。）

ご注意
こんなときは、「手動」で地上アナログ放送のチャンネルを変更する必要があります。
- マンション居住やCATVにご加入のとき
  受信CHが本機の設定と異なる場合があります。その際は、➡「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」（⇨43ページ）で受信CHを変更する必要があります。
- 該当する地域名がないとき
  テレビに映る放送局が多い地域名を選びます。
  そのあとで、➡「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定/変更する」（⇨43ページ）で細かな設定をします。

手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定 / 変更する

地域名一覧表に載っていない地域にお住まいの方や、自動設定でチャンネルが正しく設定されないとき、またチャンネルを入れ換えたい場合、手動でチャンネル設定を変更します。手動でチャンネル合わせをする前に、⇨「自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する」（⇨41 ページ）を行なっておくと、ここでの設定が簡単になります。

≫準備

- 以下の操作で「アナログチャンネル設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す
  ③【アナログチャンネル設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1 【手動チャンネル設定】を▲·▼で選び決定を押す

2 ▲·▼·◀·▶で変更したい【CH番号】を選び、決定を押す

CH番号	受信	表示
1	1	1
2	16	16
3	3	3
4	4	4
5	14	14
6	6	6

手動チャンネル設定 / 選択 決定 ページ 戻る

選択範囲が段全体から【受信】のみに変わり、【受信】や【表示】番号が変更可能になります。

【CH 番号】（選局チャンネル）
　チャンネルを選局するときの番号です。36 チャンネル分まで記憶できます。
　チャンネル▲・▼を押すと、この番号順に選局されます。
【受信】（受信チャンネル）
　放送局から実際に受信しているチャンネルの番号です。
【表示】（表示チャンネル）
　チャンネルを選局すると、画面や本体表示部に表示される番号です。

3 ▲・▼で【受信】チャンネルを変更し、決定を押す

CH番号	受信	表示
1	1	1
2	16	16
3	3	3
4	4	4
5	14	14
6	6	6

手動チャンネル設定 / 選択 決定 移動 戻る

続けて【表示】も変更する場合は受信チャンネルを変更後、決定を押す前に▶でカーソルを【表示】チャンネルに移行し▲・▼で【表示】チャンネルを変更し、決定を押す

CH番号	受信	表示
1	1	1
2	16	16
3	19	3
4	4	4
5	14	14
6	6	6

手動チャンネル設定 / 選択 決定 移動 戻る

- 同じ CH 番号で【受信】と【表示】の番号を変更する場合は、【受信】を先に変更してから【表示】を変更してください。
- ケーブルテレビの C13 ～ C63 チャンネルを追加するときは、空いている（または不要な）CH 番号を選び、【受信】と【表示】の番号を「C」の付いた番号に変更してください。

4 ほかの【CH番号】も変更するときは、手順2 ～ 3を繰り返す

5 機能を押す

通常画面に戻ります。

お知らせ

- CATV（有線テレビ放送）とは、地域で独自のテレビ番組を有線で放送するシステムです。本機は、CATVチャンネル中、C13 ～ C63チャンネルが受信できます。CATVの受信は、サービス（放送）の行なわれている地域でだけ可能です。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、チューナーが必要になり、これを本機の外部入力に接続することで、録画できるようになります。
- 詳しくは、CATV会社にご相談ください。

地上アナログ放送のチャンネル設定（セットアップメニュー）・つづき

地上アナログ放送で不要なチャンネルをスキップする

地上アナログ放送のチャンネルを選局するとき、見ない、使わないチャンネルを画面に出ないようにします。

≫準備

- 以下の操作で「アナログチャンネル設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
  ③【アナログチャンネル設定】を▲・▼で選び、決定を押す

1 【手動チャンネル設定】を▲・▼で選び、決定を押す

2 ▲・▼・◀・▶で飛び越し（スキップ）させる【CH番号】を選び、決定を押す

選択範囲が段全体から【受信】のみに変わり、【受信】や【表示】番号が変更可能になります。

3 クリアを押し、決定を押す

手動チャンネル設定

CH番号	受信	表示
1	1	1
2	16	16
3	3	3
4	---	---
5	14	14
6	6	6

選択　決定　移動　戻る 戻る

【受信】、【表示】に【---】が表示され、スキップが設定されます。

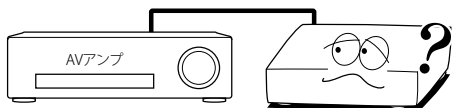
4 続けてスキップ設定をしたいときは、手順2 ～ 3を繰り返す

5 機能を押す

通常画面に戻ります。

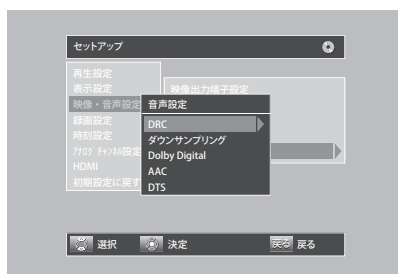
メモ　スキップしたチャンネルを戻したい場合は、前ページの「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定 / 変更する」の手順に従い、【受信】（受信チャンネル）、【表示】（表示チャンネル）を設定してください。

外部機器接続時の設定（セットアップメニュー）

音声出力の設定をする

HDMI出力端子やデジタル音声出力（光）端子をお使いになる場合に必要な設定です。
接続しているテレビやオーディオシステムに合わせて設定します。

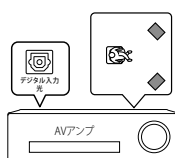
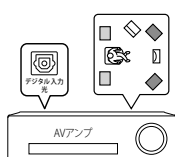
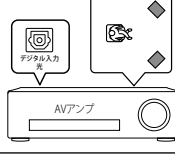
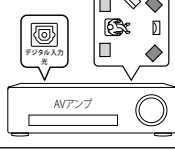
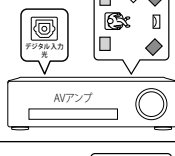
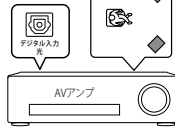
【Dolby Digital】【AAC】【DTS】の設定

≫準備

- 以下の操作で「音声設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲·▼·◄·►で選び、決定を押す
  ③【映像・音声設定】を▲·▼で選び、決定を押す
  ④【音声設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1. 接続した機器に合わせて、【Dolby Digital】【AAC】【DTS】を▲·▼で選び、決定を押す
2. 出力する音声方式を▲·▼で選び、決定を押す

【HDMI音声設定】の設定

≫準備

- 以下の操作で「HDMI 音声設定」の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【セットアップ】を▲·▼·◄·►で選び、決定を押す
  ③【HDMI】を▲·▼で選び、決定を押す
  ④【HDMI音声設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1. 出力する音声方式を▲·▼で選び、決定を押す

外部機器接続時の設定（セットアップメニュー）・つづき

設定項目		設定	備考
Dolby Digital	AVアンプ	**PCM:** 2ch デジタルステレオアンプを本機のデジタル音声出力（光）端子に接続しているとき。	ドルビーデジタルのコンテンツを再生すると、PCM(2ch) に音声を変換して出力します。
	AVアンプ	**ストリーム：** ドルビーデジタルのデコーダを内蔵したアンプを本機のデジタル音声出力（光）端子に接続しているとき。	ドルビーデジタルのコンテンツを再生すると、ビットストリーム音声を出力します。
AAC	AVアンプ	**PCM:** 2ch デジタルステレオアンプを本機のデジタル音声出力（光）端子に接続しているとき。	AAC のコンテンツを再生すると、PCM(2ch) に音声を変換して出力します。
	AVアンプ	**ストリーム：** AAC のデコーダを内蔵したアンプを本機のデジタル音声出力（光）端子に接続しているとき。	AAC のコンテンツを再生すると、ビットストリーム音声を出力します。
DTS	AVアンプ	**入：** DTS のデコーダを内蔵したアンプを本機のデジタル音声出力（光）端子に接続しているとき。	DTS のコンテンツを再生すると、ビットストリーム音声を出力します。
	AVアンプ	**切：** 2ch デジタルステレオアンプを本機のデジタル音声出力（光）端子に接続しているとき。	DTS のコンテンツを再生すると、音声は出力されません。

：フロントスピーカー　：サブウーファー　：サラウンドスピーカー　：センタースピーカー

※スピーカー類の配置は一例で、目安です。お使いの環境に合わせて設置してください。

ご注意

- 本機のデジタル音声出力（光）端子に、ドルビーデジタル、DTS、AAC のデコード機能を搭載していない AV デコード製品を接続してお使いになるときは、【Dolby Digital】【AAC】【DTS】の各設定を必ず【PCM】もしくは【切】にしてください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。

出力される音声の種類

ディスク / デジタル放送	音声方式		アナログ音声出力端子	音声設定						HDMI 音声設定		
				Dolby Digital		AAC		DTS		LPCM	自動	切
				ストリーム	PCM	ストリーム	PCM	入	切			
				デジタル音声出力（光）端子 HDMI 端子						HDMI 端子		
DVD ビデオ ディスク *1	ドルビーデジタル		○	ビット ストリーム	PCM					リニア PCM	接続機器に準ずる	ー
	MPEG			PCM								
	リニア PCM	48kHz		PCM								
		96kHz		PCM*2								
	DTS		ー					ビット ストリーム	ー	ー		
音楽用 CD	リニア PCM		○	PCM						リニア PCM		
	DTS		（ノイズ）					ビット ストリーム	ー	ー		
内蔵 HDD	ドルビーデジタル		○	ビット ストリーム	PCM					リニア PCM		
	リニア PCM			PCM								
DVD-RAM/R/RW	ドルビーデジタル		○	ビット ストリーム	PCM							
	MPEG			PCM								
	リニア PCM			PCM								
デジタル放送	視聴時	AAC	○			ビット ストリーム	PCM					
	内蔵 HDD に「TS」で録画時	AAC				ビット ストリーム	PCM					
	内蔵 HDD に「VR」で録画時	ドルビーデジタル		ビット ストリーム	PCM							
		リニア PCM		PCM								

○：出力します
ー：出力しません
斜線部分：設定内容が、出力される音声に影響しません。

*1:DVD ビデオディスクには本機で作成した DVD-R/RW は含まれません。上表で「（ノイズ）」の表示のある接続と設定はしないでください。
*2: ダウンサンプリング PCM

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Manufactured under license under U.S. Patent #: 5,451,942 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Out are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.

お知らせ

- HDMI端子からの出力は音声設定での設定よりもHDMI音声設定の設定を優先します。
- デジタル音声出力（光）端子をお使いになるときは、対応したAVアンプが必要です。
- ディスクによっては、音声の切り換えをディスクメニューを使ってする場合があります。このときは、メニュー /リストボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたとき、およびディスクを交換したときは、「セットアップ」>「再生設定」>「音声言語」（⇨操作編124ページ）の設定どおりの音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- 音声を切り換えた直後は、表示と実際の音声が一瞬ずれることがあります。
- DTS音声はPCMに変換して出力できないため、「ビットストリーム」か「出力しない」かのいずれかになります。
- MPEG音声のビットストリーム出力には対応していないため、設定内容に依らず、MPEG音声は「PCM」で出力されます。
- デジタル音声出力（光）端子でアンプなどに接続する場合、二カ国語の音声切換ができない場合があります。このようなときは「セットアップ」>「映像・音声設定」>「音声設定」>「Dolby Digital」>「PCM」の順に選択、決定してください。

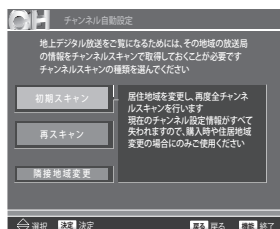
地上デジタル放送のチャンネルを設定する（初期スキャン）

お使いになる地域で、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを「初期スキャン」で探します。
「初期スキャン」をすると、これまでに選局設定した地上デジタル放送の内容は、すべて消去されて設定し直されます。

≫準備

- 以下の操作で「デジタルチャンネル設定」の項目選択画面にする
  ①地デジを押して、デジタル放送を選ぶ
  ②機能を押す
  ③【デジタル設定】を▲·▼·◄·►で選び、決定を押す
  ④【デジタルチャンネル設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1 【チャンネル自動設定】を▲·▼で選び、決定を押す

2 【初期スキャン】を▲·▼で選び、決定を押す

3 お住まいの地域を▲·▼で選び、決定を押す

地方を切り換えるには、⏮ ⏭を押します。
画面右下の【確定】が選ばれていることを確認し、決定を押します。

4 画面を確認したあと、決定を押す

自動的に【隣接地域】が設定され、自動設定が始まります。
自動設定を中断するときは、自動設定のスキャン中に決定を押すと確認画面が表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。（自動設定中に戻るは使用できません。）

5 スキャンが終了したら、画面右下の【手順3へ】が選ばれていることを確認し、決定を押す

6 画面右下の【手順4へ】が選ばれていることを確認し、決定を押す

受信したチャンネルが8個以上あるときは、◄で【次へ】を選び、決定を押すとチャンネル一覧を切り換えることができます。

7 画面右下の【完了】が選ばれていることを確認し、決定を押す

リモコンの番号ボタンでの選局が可能になります。

■初期スキャンの動作について

- 初期スキャンを行なうと、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、本機に設定します。
  同時に、本機のリモコンの番号ボタンに放送の運用規定に基づいて自動設定を行ないます。
  番号ボタンへの自動設定は、設定された地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などにしたがって行なわれます。
- 電波が弱い場合には、初期スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。
- 設定された内容の確認や変更をしたいときは、⇨「手動で地上／BS・110度CSデジタル放送のチャンネルを変更／追加する」（50ページ）をご覧ください。

■地域の設定について

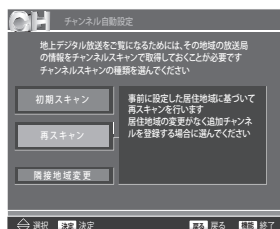
チャンネルの自動設定は、手順❸、❹で設定された地域に基づいて行なわれます。

新たに放送局が開局したり、チャンネルがふえたとき（再スキャン）

地上デジタル放送で、新たに開局したり、中継局が新設されてチャンネルがふえたなど、放送チャンネルに変更があった場合は、この「再スキャン」を行なうことによって、チャンネルを自動的に追加設定することができます。

※「再スキャン」は「初期スキャン」（⇨48 ページ）を行なっていないとできません。

1 「地上デジタル放送のチャンネルを設定する（初期スキャン）」（⇨48ページ）の手順❷で【再スキャン】を▲･▼で選び、（決定）を押す

再スキャンを開始します。終了するまでお待ちください。

2 画面を確認したあと、（決定）を押す

自動的に【隣接地域】が設定され、自動設定が始まります。

自動設定を中断するときは、自動設定のスキャン中に（決定）を押すと確認画面が表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。（自動設定中に（戻る）は使用できません。）

3 スキャンが終了したら、画面右下の【手順3へ】が選ばれていることを確認し、（決定）を押す

4 画面右下の【手順4へ】が選ばれていることを確認し、（決定）を押す

受信したチャンネルが 8 個以上あるときは、◀で【次へ】を選び、（決定）を押すとチャンネル一覧を切り換えることができます。

5 画面右下の【完了】が選ばれていることを確認し、（決定）を押す

リモコンの数字ボタンでの選局が可能になります。

■ 再スキャンの動作について

- 「初期スキャン」（⇨48 ページ）の場合は、すでに番号ボタンに設定されている放送局をすべて消去して、新たに放送局を設定し直され、再スキャンでは次のようになります。
  - すでに放送局が登録されている番号ボタンについて、再スキャンによって放送システム上の規定で設定すべき放送局が新たに見つかった場合、すでに登録されている放送局はそのまま残り、新たに追加された放送局は空いている番号ボタンに自動的に割り振られます。（個別に設定を変えたい場合は、再スキャン終了後に、⇨「手動で地上／ BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネルを変更／追加する」（50 ページ）で行なってください。）
  - 新たな放送局が見つからなかった番号ボタンについては、そのまま設定が残ります。
- 電波が弱い場合には、再スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常に受信できない場合があります。
- 再スキャンの途中で終了すると再スキャンした内容は本機に設定されません。

手動で地上／ BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネルを変更／追加する

「手動設定」は「初期スキャン」（⇨48 ページ）を行なっていないとできません。

≫準備

- 以下の操作で「デジタルチャンネル設定」の項目選択画面にする
  ①変更または追加したい放送の種類を地デジ、BS、CS1/2のいずれかのボタンで選ぶ
  ②機能を押す
  ③【デジタル設定】を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す
  ④【デジタルチャンネル設定】を▲·▼で選び、決定を押す

1 【地上チャンネルボタン設定】を▲·▼で選び、決定を押す

選局している放送の種類によって、【地上チャンネルボタン設定】の【地上】部はそれぞれ【地上】【BS】【CS1】【CS2】に切り換わります。

2 設定するリモコン番号を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

3 変更または追加したいチャンネルを▲·▼で選び、決定を押す

続けてほかのチャンネルの設定も追加・変更する場合は、繰り返し手順❷、❸を行なってください。
画面右の【標準設定】を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押すと本機が自動で設定する状態に戻せます。

お知らせ

- 【チャンネル】の項目で「–––」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

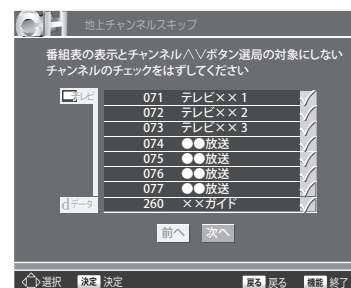
不要なチャンネルをスキップする

地上/BS/110 度 CS デジタル放送のチャンネルで選局するときに、不要なチャンネルを飛び越して選局できるようになります。
※ 地上デジタル放送は「初期スキャン」（⇨48 ページ）を行なっていないとできません。

1 【地上チャンネルスキップ】を▲·▼で選び、決定を押す

選局している放送の種類によって、【地上チャンネルボタン設定】の【地上】部はそれぞれ【地上】【BS】【CS1】【CS2】に切り換わります。

2 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲·▼で選び、決定を押す

決定を押すごとに✓（チェックマーク）の有無が切り換わります。
他のチャンネルや放送も設定する場合は、手順❶、❷をくり返します。
✓（白）または表示なしのチャンネルのみ、飛び越し（スキップ）の設定ができます。
次の画面を表示させる場合は、【次へ】を選んで、決定を押します。
前の画面を表示させる場合は、【前へ】を選んで、決定を押します。
✓（グレイ）のチャンネルは、リモコンの記号1あ～12に設定されたチャンネルのため、飛び越し（スキップ）できません。

お知らせ

- 「手動で地上／ BS・110度CSデジタル放送のチャンネルを変更／追加する」を行なったチャンネルは、自動的に【受信】に設定されます。
- ハイビジョン放送のように一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネル（一番小さい番号のチャンネル）をスキップ設定すると、その次のチャンネルを選局します。
- 【スキップ】に設定したチャンネルは、番組表に表示されません。

データ放送の設定をする

お住まいの地域に応じたデータ放送（天気予報・選挙速報）や緊急警報放送の受信や、電話回線を通しての双方向のデータ通信を、最寄りのアクセスポイントで利用するための設定を行ないます。

≫準備

- 以下の操作で「ユーザ設定」の項目選択画面にする
  ① 機能 を押す
  ②【デジタル設定】を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す
  ③【ユーザ設定】を▲・▼で選び、決定 を押す

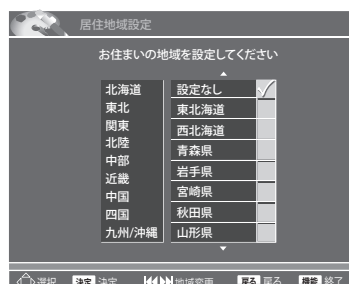
居住地域と郵便番号の設定

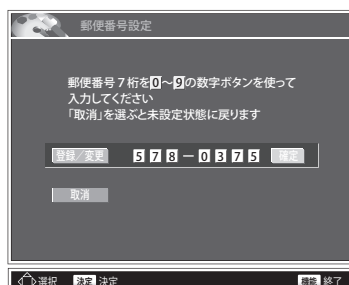
最寄のアクセスポイントを利用するために、居住地域と郵便番号の設定を行います。

1. 【居住地域設定】を▲・▼で選び、決定 を押す

2. 該当する地域を▲・▼で選び、決定 を押す

   地方は ⏮ ⏭ で選択できます。
   伊豆、小笠原諸島地域の方は、【東京都島部】を選んでください。
   南西諸島の鹿児島県地域の方は、【鹿児島県島部】を選んでください。

3. 戻る を押す

4. 【郵便番号設定】を▲・▼で選び、決定 を押す

5. 【登録/変更】を▲・▼で選んで 決定 を押し、1あ～10/0 でお住まいの郵便番号を入力し、決定 を押す

   入力を間違えたときは・・・
   郵便番号を入力中に◀を押すと１文字消すことができます。
   郵便番号を入力確定後に▼で【取消】を選んで、決定 を押すと、入力内容を取り消せます。

電話回線の設定（双方向通信の設定をする）

電話回線はおもに、BSまたは110度CSデジタル放送で双方向放送（クイズ番組への参加や通販番組での商品購入など）を利用するときに使用します。

※ ⇨「電話回線の接続（双方向通信の接続をする）」（21ページ）でお使いの電話回線の状態を確認、接続してから、電話回線の設定をしてください。

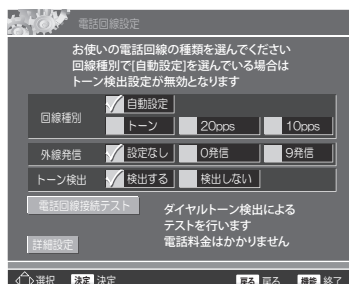
ご注意

- データ放送の通信コンテンツは対応していない場合があります。

≫準備

- **以下の操作で「電話回線設定」の項目選択画面にする**
  - ① 機能 を押す
  - ②【デジタル設定】を▲・▼・◄・►で選び、決定 を押す
  - ③【機器設定】を▲・▼で選び、決定 を押す
  - ④【電話回線設定】を▲・▼で選び、決定 を押す

電話回線設定

1 設定する項目を▲・▼・◄・►で選び、決定 を押す

【回線種別】

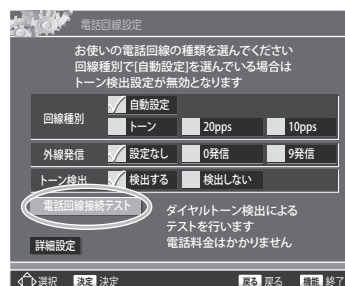
- 自動で設定するときは【自動設定】を選んでください。
- プッシュ回線を使用しているときは【トーン】を選んでください。
- 20ppsのダイヤル回線を使用しているときは【20pps】を選んでください。
- 10ppsのダイヤル回線を使用しているときは【10pps】を選んでください。

【外線発信】

- 通常時（外線発信しないとき）は、【設定なし】を選んでください。
- 外線に電話をするときに電話番号の前に「0」を付けるときは【0発信】を選んでください。
- 外線に電話をするときに電話番号の前に「9」を付けるときは【9発信】を選んでください。

【トーン検出】

- 通常時は【検出する】を選んでください。
- 受話器をあげても「ツー」という音が聞こえないときは【検出しない】を選んでください。（回線種別が【自動設定】の場合は、トーン検出の設定は無効となります。）

2 【電話回線接続テスト】を▲・▼・◄・►で選び、決定 を押す

【電話回線は正しく接続されています】と表示されたら、接続は正常です。

回線種別が【自動設定】以外で、トーン検出が【検出しない】に設定されている場合は、センター側への接続テストを行なう際に、全国一律の電話料金がかかります。

【電話回線がほかの機器で使用中か正しく接続されていません 接続を確認してください】と表示された場合は、接続が正しいかを再度確認し、電話器やFAXが使われていないことを確認してください。

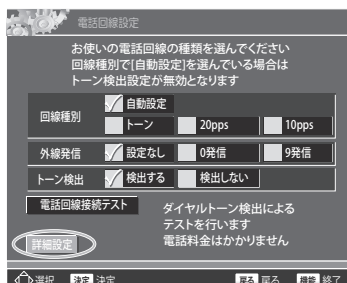
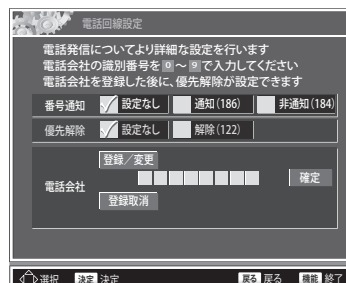
電話回線の詳細設定

発信者番号通知のご利用や、「マイライン」、「マイラインプラス」以外の電話会社を利用される場合のみ、以下の設定が必要となります。

1 電話回線設定画面で【詳細設定】を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

電話回線設定
お使いの電話回線の種類を選んでください
回線種別で[自動設定]を選んでいる場合は
トーン検出設定が無効となります
回線種別　自動設定　トーン　20pps　10pps
外線発信　設定なし　0発信　9発信
トーン検出　検出する　検出しない
電話回線接続テスト　ダイヤルトーン検出による テストを行います 電話料金はかかりません
詳細設定
選択　決定 決定　戻る 戻る　機能 終了

2 ▲・▼・◀・▶で設定したい項目を選び、決定を押す

電話回線設定
電話発信についてより詳細な設定を行います
電話会社の識別番号を 0 ～ 9 で入力してください
電話会社を登録した後に、優先解除が設定できます
番号通知　設定なし　通知(186)　非通知(184)
優先解除　設定なし　解除(122)
電話会社　登録／変更　確定　登録取消
選択　決定 決定　戻る 戻る　機能 終了

下記の表を参考にしながら、各項目を設定してください。

- 【番号通知】と【優先解除】は、決定を押すと✔が付きます。
- 【電話会社】を設定するときは、▲・▼・◀・▶で【登録 / 変更】を選んで決定を押し、1あ～10/0で番号を入力します。入力中に◀を押すと 1 桁ずつ数字を消すことができます。入力が完了したら【確定】が選ばれていることを確認し、決定を押します。

（識別番号が 7 桁以下のときは、番号を入力後、▶で【確定】を選び、決定を押してください。）

詳細設定の項目と設定内容

項目		設定内容
【番号通知】	【設定なし】	お買い上げ時の設定。電話会社との契約内容にしたがいます。
	【通知（186）】	電話番号の前に「186」を付け、発信番号の通知を行います。
	【非通知（184）】	電話番号の前に「184」を付け、発信番号の通知は行いません。
【優先解除】（【電話会社】で、識別番号を登録したときのみ、設定してください。）	【設定なし】	お買い上げ時の設定。「マイライン」の場合は、この設定にしてください。
	【解除（122）】	「マイラインプラス」の場合は、【電話会社】で識別番号を登録したあと、この設定を選びます。
【電話会社】	【登録 / 変更】	お買い上げ時の設定は、空白になっています。 普段お使いになっている電話会社以外の電話会社を利用する場合は電話会社の識別番号を1あ～10/0で入力してください。
	【登録取消】	電話会社の登録を取消します。

※ 通常は設定の必要はありません。

お知らせ

- 「マイラインプラス」の場合、識別番号を登録したあとに、優先解除を【解除(122)】に変更してください。なお、先頭が「110」「119」「118」で始まる番号の登録はできません。

視聴年齢制限の設定

デジタル放送の成人向けの番組では、番組ごとに視聴年齢制限が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには視聴年齢設定が必要です。
- あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないと視聴できないようにすることができます（年齢の設定値は 4 才以上〜 19 才以上です）。

≫準備

- 以下の操作で「ユーザ設定」の項目選択画面にする
  ① 機能を押す
  ②【デジタル設定】を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す
  ③【ユーザ設定】を▲･▼で選び、決定を押す

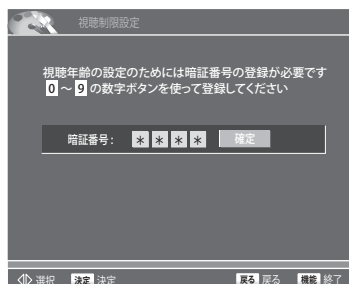
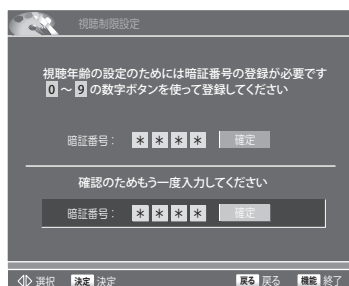
1 【視聴制限設定】を▲･▼で選び、決定を押す

2 1あ〜10/0で暗証番号（4桁）を入力し、決定を押す

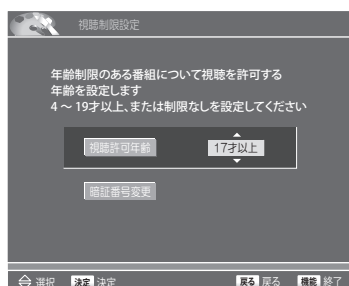
入力した数字は【＊】で表示されます。
入力を間違えたときは、◀を押すと 1 文字消すことができます。

視聴制限設定
視聴年齢の設定のためには暗証番号の登録が必要です
0〜9 の数字ボタンを使って登録してください
暗証番号：＊＊＊＊ 確定
選択 決定 決定 戻る 戻る 機能 終了

3 1あ〜10/0でもう一度同じ暗証番号（4桁）を入力し、決定を押す

視聴制限設定
視聴年齢の設定のためには暗証番号の登録が必要です
0〜9 の数字ボタンを使って登録してください
暗証番号：＊＊＊＊ 確定
確認のためもう一度入力してください
暗証番号：＊＊＊＊ 確定
選択 決定 決定 戻る 戻る 機能 終了

- 【入力した番号と異なります再度入力してください】というメッセージが表示されたときは、画面の指示にしたがって、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

4 【視聴許可年齢】を▲･▼で選び、決定を押し、▲･▼で視聴制限を設定し、決定を押す

視聴制限設定
年齢制限のある番組について視聴を許可する
年齢を設定します
4〜19才以上、または制限なしを設定してください
視聴許可年齢 17才以上
暗証番号変更
選択 決定 決定 戻る 戻る 機能 終了

【4 才以上〜 19 才以上（1 才単位）】
番組の視聴年齢制限が本機で設定した年齢より上の場合は、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。
【制限なし】
番組の視聴年齢制限に関係なく視聴できます。
（お買い上げ時の設定）

お知らせ
- 暗証番号は、視聴年齢制限が設定されている番組を見るときなどに使われます。
- 暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。万が一お忘れになられた場合は、設定をお買い上げ時の状態に戻し、暗証番号を再設定する必要があります。（⇨操作編127ページ）

暗証番号を変更する

1 上記、視聴年齢制限の設定の手順 1 〜 3を行なう

2 【暗証番号変更】を▲・▼で選び、決定を押す

3 1あ〜10/0で暗証番号（4桁）を入力し、決定を押す

入力した数字は【＊】で表示されます。
入力を間違えたときは、◀を押すと 1 文字消すことができます。

4 1あ〜10/0でもう一度同じ暗証番号（4桁）を入力し、決定を押す

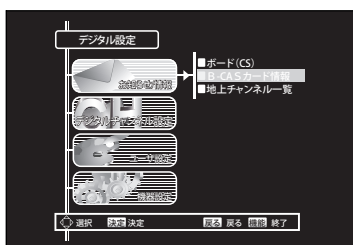
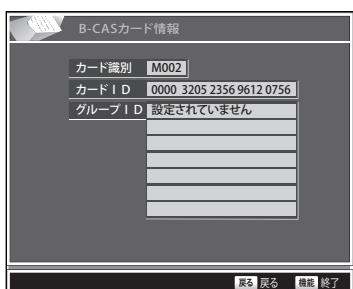
お知らせ
- ここで設定した暗証番号は、【セットアップ】>【再生設定】>【視聴制限の設定】（⇨操作編124ページ）での暗証番号とは別のものです。

B-CAS カードの登録番号を確認する

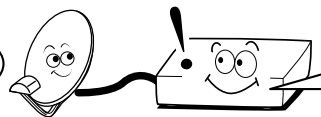
B-CAS カードに登録されている番号を確認できます。

≫準備

- 以下の操作で【お知らせ / 情報】の項目選択画面にする
  ①機能を押す
  ②【デジタル設定】を▲・▼・◄・►で選び、決定を押す
  ③【お知らせ/情報】を▲・▼で選び、決定を押す

1 【B-CASカード情報】を▲・▼で選び、決定を押す

2 B-CASカード情報を確認する

デジタル放送用アンテナ関連の設定（デジタル設定メニュー）

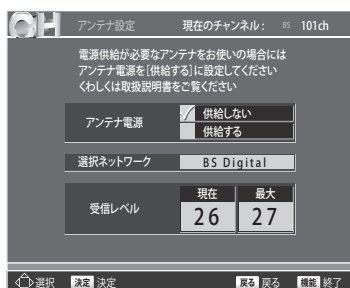
BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナの電源設定をする

BS・110 度 CS デジタル用アンテナ

BS・110 度 CS アンテナのコンバーターに電源（+15V）を供給するための設定です。
接続方法に合わせて設定してください。

≫準備

- 以下の操作で「アンテナ設定」の項目選択画面にする
  ①BS、CS1/2のいずれかを押して、BS/CSデジタル放送を選ぶ
  ②機能を押す
  ③【デジタル設定】を▲･▼･◄･►で選び、決定を押す
  ④【デジタルチャンネル設定】を▲･▼で選び、決定を押す
  ⑤【アンテナ設定】を▲･▼で選び、決定を押す

1 【供給しない】または【供給する】を▲･▼で選び、決定を押す

アンテナ設定 現在のチャンネル： BS 101ch
電源供給が必要なアンテナをお使いの場合には
アンテナ電源を［供給する］に設定してください
くわしくは取扱説明書をご覧ください
アンテナ電源 ✓供給しない 供給する
選択ネットワーク BS Digital
受信レベル 現在 26 最大 27
選択 決定 決定 戻る 戻る 機能 終了

【供給しない】
本機から BS・110 度 CS アンテナのコンバーターに電源を供給しません。
【供給する】
BS・110 度 CS アンテナのコンバーターに電源を供給します。

BS・110 度 CS アンテナの接続によって、設定が異なります。
下の表をご覧ください。

接続環境		本機の「BS・110 度 CS アンテナ電源設定」	備考
共同受信設備 / 本機 / BS 内蔵テレビ または BS 受信機	テレビ共同受信設備（マンションなど）のアンテナ引込線と接続する場合	【供給しない】	この接続環境の場合、【供給しない】に設定します。
本機 / テレビ	BS・110 度 CS アンテナが本機専用の場合	【供給する】	この接続環境の場合、【供給する】に設定します。
本機 / BS 内蔵テレビ または BS 受信機	BS・110 度 CS アンテナを本機を経由して他の受信機に接続する場合	【供給する】	この接続環境の場合、【供給する】に設定します。

お知らせ

- 【供給する】に設定しても、接続の間違いや分配器やケーブルによるショートなどが発生すると、自動的に【供給しない】に切り換わります。自動的に【供給しない】に切り換わった場合は、配線などを確認してから再設定をしてください。

【供給する】にした場合は、本機の電源プラグはコンセントから抜かず、常に通電状態にしておいてください。

デジタル放送用アンテナの調整や設定をする

アンテナ本体の方向調整方法は、アンテナの取扱説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください。

≫準備

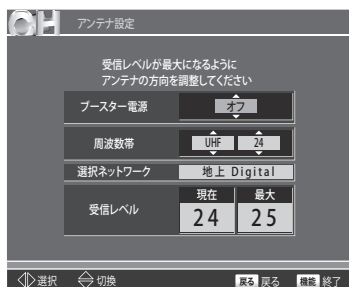
- 以下の操作で「アンテナ設定」の項目選択画面にする
  ①地デジを押して、地上デジタル放送を選ぶ
  ②機能を押す
  ③【デジタル設定】を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す
  ④【デジタルチャンネル設定】を▲･▼で選び、決定を押す
  ⑤【アンテナ設定】を▲･▼で選び、決定を押す

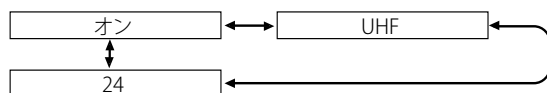
地上デジタル放送用アンテナの受信レベルを調整する

ここでは、受信レベル表示を使って地上デジタル用アンテナの方向調整をする方法について説明します。
受信レベルの数値が最大になるように、アンテナの方向を調整してください。

1 【周波数帯】を◀･▶で選ぶ

アンテナ設定	
受信レベルが最大になるように アンテナの方向を調整してください	
ブースター電源	オフ
周波数帯	UHF 24
選択ネットワーク	地上 Digital
受信レベル	現在 24 / 最大 25

選択　切換　戻る 戻る　機能 終了

◀・▶を押すごとに、以下のように切り換わります。

オン ↔ UHF → 24 → オン

- 地上デジタル放送の場合は、UHF13 ～ UHF62 を選んでください。

2 調節したい周波数帯を▲･▼で選ぶ

3 アンテナをゆっくり動かして、【受信レベル】の数値が最大となるように調整する

4 【受信レベル】が最大になる方向でアンテナを固定する

画面の【受信レベル】の最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。
- 下がっていたらもう一度アンテナを調整してください。

固定したら 機能 を押します。
【アンテナ設定】画面が消えて、設定が完了します。

≫準備

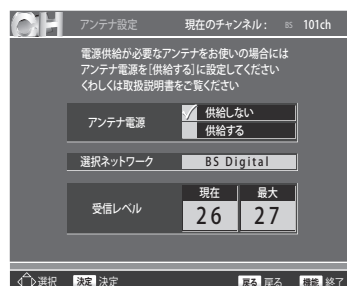
- 以下の操作で「アンテナ設定」の項目選択画面にする
  ①BS、CS1/2を押して、放送の種類（BSまたは110度CS）を切り換える
  ②契約しているチャンネルまたは無料チャンネルを選局する
  ③機能を押す
  ④【デジタル設定】を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す
  ⑤【デジタルチャンネル設定】を▲･▼で選び、決定を押す
  ⑥【アンテナ設定】を▲･▼で選び、決定を押す

BS・110度CSデジタル放送用アンテナの受信レベルを調整する

受信レベル表示を使って、BS または 110 度 CS デジタル放送受信のためのアンテナの方向を調整します。
受信レベルは、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。この数値が最大になるようにアンテナの方向を調整してください。
- アンテナ本体の方向調整方法は、アンテナの取扱説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、【受信レベル】の数値が最大となるように調整する

アンテナ設定　現在のチャンネル： BS 101ch	
電源供給が必要なアンテナをお使いの場合には アンテナ電源を[供給する]に設定してください くわしくは取扱説明書をご覧ください	
アンテナ電源	✓ 供給しない 供給する
選択ネットワーク	BS Digital
受信レベル	現在 26 / 最大 27

選択　決定 決定　戻る 戻る　機能 終了

2 【受信レベル】が最大になる方向でアンテナを固定する

画面の【受信レベル】の最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。
- 下がっていたらもう一度アンテナを調整してください。

固定したら 機能 を押します。
【アンテナ設定】画面が消えて、設定が完了します。

デジタル放送用アンテナ関連の設定（デジタル設定メニュー）・つづき

本機の番組表に関して

番組表の情報は放送メディア（地上デジタル、BS・110 度 CS デジタルなど）によって異なります。
以下をご参考ください。

デジタル放送の番組表データについて	
Q	**デジタル放送の番組表データは何から取得するの？**
A	デジタル放送はデジタル放送波から番組データを受信します。 ・デジタル放送波（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）から送信される番組データを、アンテナから自動的に受信します。 ・インターネット環境などがなくても、番組データが取り込めます。 ・8 日分の番組データを取り込みます。(放送局によって変わる場合があります。) ・テレビの放送波を利用して、本機の時刻を自動調整します。 ・番組表からの録画予約中に番組の放送時間に変更があっても、リアルタイムに対応します。

お知らせ

- 番組表が表示されても、CATVの契約状況により､正しく録画できない場合があります｡ご契約内容をご確認のうえ､表示チャンネルを設定してください。
- ご契約のチャンネル名と番組表に表示されるチャンネル名は異なることがあります。

ご注意と参考資料

使用上のお願い 必ずお読みください。

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

内蔵ハードディスク（HDD）および DVD ドライブについての重要なお願い

本機にはハードディスク（HDD）が内蔵されています。HDD は衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことにお気をつけください。

- 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中 ※）
- 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
- 水平以外にして置かないでください。
- 背面の内部冷却用ファンの通風孔をふさがないでください。
- 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
- 電源を入れたままの状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ず電源ボタンを押して、終了処理が終わり、完全に電源が切れてから抜くようにしてください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。

HDD は非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。このため内蔵 HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとに、各 DVD ディスクなどにダビングするまでの、一時的な保管場所として使用してください。

また、内蔵 HDD 内に壊れかけている部分があると、録画した場合には、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生することがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合、内蔵 HDD 全体が使えなくなってしまうおそれがあります。こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に各 DVD ディスクにダビングしてください。パソコンと同様に、HDD は壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。DVD ディスクへのバックアップを前提の上で使用してください。

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 移動させるときは
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないとき
ディスクトレイから必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオデッキの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオデッキからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、ビデオデッキなど熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 本体のよごれはやわらかい布（ガーゼ等）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本体表面を変質させます。
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する事がありえる事は予めご承知ください。

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
  This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続した場合、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をご覧ください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合には改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

音量について

- 市販の DVD ビデオディスクの中には、音量が音楽 CD などの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

たいせつな録画・録音・編集について

- たいせつな録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行ない、正しくできることを確かめておいてください。
  本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、飛んだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限（録画禁止など）があるものがあります。この場合、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。
  ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。
  ただし、著作権保護のため 1 回だけ録画が可能な番組（コピーワンスプログラム）などの録画はバックアップをとることはできません。

停電について

- 本機の録画中に停電があった場合その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。
- 停電復帰後に、時計表示が「－－：－－」になっている場合は、時刻を合わせてください。

本体表示窓に「data」と表示されたときには

- デジタル放送用の番組表の番組情報を取得中です。
- 番組情報や番組データを取得中以外にも、情報整理をするために表示されることがあります。
- 番組情報や番組データを取得中は、冷却用ファンが回るなどで動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販の DVD ビデオディスクなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に「⃠」が表示されることがあります。
  「⃠」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

録画・録音するときの制約

- 市販されているコピーが禁止された DVD ビデオディスク、音楽用 CD の内容を、本機でコピーすることはできません。
  録画・録音が制限されていないものは、個人使用の範囲内でだけ、コピーや編集ができます。1 回だけ録画が可能な映像（コピーワンス）や複数回コピー可能な映像（ダビング 10）※1 は、内蔵 HDD または CPRM※2 対応の DVD-R/RW（VR フォーマット）に録画できますが、DVD-R/RW（ビデオフォーマット）への録画はできません。
  また、DVD ディスクに記録されたダビング 10 タイトルは、HDD へコピーも移動もできません。内蔵 HDD に録画したコピーワンスの映像は、CPRM※2 対応の DVD-R/RW（VR フォーマット）へのダビング（移動）が可能ですが、ダビング（コピー）はできません。内蔵 HDD に録画したダビング 10 タイトルは、CPRM※2 対応の DVD-R/RW（VR フォーマット）へのダビング（移動またはコピー）が可能ですが、回数制限があります。コピーワンス、ダビング 10 ともにダビングの際やその他の編集制限があります。
  ※ 1 ダビング 10 及び条件については、⇨ 63 ページをご覧ください。
  ※ 2 CPRM や各ディスクについては、⇨ 操作編 38、45 ページをご覧ください。

ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本体内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合、ユーザー登録をしていただいたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。
  また、本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波（地上デジタル放送または BS デジタル放送を受信できる環境と設定が必要です）の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアをバージョンアップさせることができます。（お買い上げ時は、「する」の状態に設定されています。）ソフトウェアのバージョンアップや自動ダウンロードについては、⇨ 28 ページをご覧ください。
  ソフトウェアのバージョンアップ中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

使用上のお願い・つづき

地上デジタル放送について

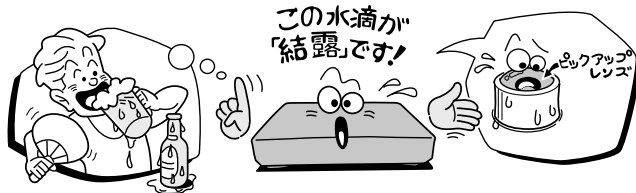
■地上デジタル放送とは？
地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送のことです。現在行なわれているアナログ方式の地上放送は、今後地上デジタル放送に変わっていきます。

■地上デジタル放送の特長
これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。
①デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
②高音質放送（MPEG-2 AAC 方式）
③ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
④データ放送や双方向通信サービス
（通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。また、電話回線等を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。）
⑤移動体受信・部分受信サービス
（本機では部分受信サービスは受信できません。）
地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。(ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。)

アナログ放送からデジタル放送への移行について

■デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログテレビ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

結露（露付き）について

■結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください
例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露（露付き）”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■“結露” はこんなときおきます
- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください
結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則にしたがってください。**
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、⇨ 操作編「初期設定に戻す」（127 ページ）や、⇨ 操作編「一度にすべてのタイトルを消去するとき」（97 ページ）を行ない、暗証番号や個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままで譲渡すると、著作権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
また、お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。

著作権について

- ディスクや内蔵 HDD 録画内容を無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他の人に渡したり貸したりした場合にも著作権法上問題となることがあります。
- あなたが作成した作品や撮影した映像以外から複製したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Manufactured under license under U.S. Patent #: 5,451,942 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Out are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.

HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標又は登録商標です。

- 本取扱説明書に記載されている名称、会社名、商品名などには、各社の登録商標や商標が含まれています。
- 本機は、CPRM（Content Protection for Recordable Media）著作権保護技術を採用しています。CPRM とは、コピー制限のある番組に対する著作権保護技術です。

ダビング 10 番組について

ダビング 10 番組 (以下、ダビング 10) とは、デジタル放送でダビング元が HDD のときに、ダビングが最大 10 回（コピー 9 回と移動 1 回）できる番組のことです。

番組　録画　ダビング（移動またはコピー）

制限なしに録画可能／コピー可能：録画できます → 内蔵HDD → コピーできます → DVD-R/RW（VRフォーマット）、DVD-R/RW（ビデオフォーマット）

制限なしに録画可能／コピー可能：録画できます → DVD-R/RW（VRフォーマット） → コピーできます → 内蔵HDD

コピーワンス：録画できます → 内蔵HDD → コピーできません（移動は可※） → DVD-R/RW（VRフォーマット）

コピーワンス：　1回だけ録画可能な番組

コピーワンス：録画できません → DVD-R/RW（VRフォーマット） → コピーできません → 内蔵HDD

ダビング10：録画できます → 内蔵HDD → DVD-R/RW（VRフォーマット）

ダビング10：　ダビング元がHDDのときに、最大コピーが9回と移動が1回可能な番組

ダビング10：録画できません → DVD-R/RW（VRフォーマット） → コピーできません → 内蔵HDD

HDD：ハードディスク

録画禁止／コピー禁止：録画できません → 内蔵HDD、DVD-R/RW（VRフォーマット）

- 2004年4月から、BS/地上デジタル放送の番組が、コピー制限のある番組とされています。

※ダビングについて詳しくは、⇨ 操作編「活用する・ダビング」章をご覧ください。
ダビング先のDVDに本機で作成したものを使用した場合に限ります。

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

地域名と放送局一覧表

この表は 2009 年 7 月現在のものです。
※地上デジタル放送開始にともなう地上アナログ放送チャンネル移動の場合も、変更が必要です。

➡ 41 ページの手順で地域名を設定すると、この表にある放送局が各リモコン番号に自動設定されます。
放送局等の変更があった場合は初めに、➡「自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する」（⇨41 ページ）をしたあと、➡「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」（⇨43 ページ）で修正してください。

北海道

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	HBC テレビ／1		NHK 総合／3	TVH テレビ／17	STV テレビ／5		UHB テレビ／27			HTB テレビ／35		NHK 教育／12
	函館	UHB テレビ／27		HTB テレビ／35	NHK 総合／4	TVH テレビ／21	HBC テレビ／6				NHK 総合／10		STV テレビ／12
	旭川		NHK 教育／2		TVH テレビ／33	UHB テレビ／37	HTB テレビ／39	STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／11	
	帯広	UHB テレビ／32		HTB テレビ／34	NHK 総合／4		HBC テレビ／6				STV テレビ／10		NHK 教育／12
	釧路		NHK 教育／2	HTB テレビ／39	UHB テレビ／41			STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／11	
	苫小牧		NHK 教育／49		HTB テレビ／61	UHB テレビ／53		STV テレビ／57		NHK 総合／51		HBC テレビ／55	TVH テレビ／47
	小樽		NHK 教育／2		HTB テレビ／4	UHB テレビ／26		STV テレビ／7		HBC テレビ／9		NHK 総合／11	TVH テレビ／24
	北見		NHK 教育／2		HTB テレビ／61	UHB テレビ／59		STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／53	
	室蘭		NHK 教育／2		TVH テレビ／29	UHB テレビ／37	HTB テレビ／39	STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／11	
	網走	HBC テレビ／1		NHK 総合／3		STV テレビ／5		UHB テレビ／27		HTB テレビ／35			NHK 教育／12
	稚内		UHB テレビ／26		NHK 総合／28		STV テレビ／22		HTB テレビ／24		HBC テレビ／10		NHK 教育／30
	名寄		UHB テレビ／26		NHK 総合／4		STV テレビ／6		HTB テレビ／24		HBC テレビ／10		NHK 教育／12
	根室		NHK 教育／2			UHB テレビ／62	HTB テレビ／60	STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／11	

東北

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
青森	青森	青森放送／1		NHK 総合／3	ABA ／34	NHK 教育／5							青森テレビ／38
	八戸		IBC テレビ／2	テレビ岩手／37	めんこいテレビ／29		岩手朝日テレビ／27	NHK 教育／7		NHK 総合／9	ABA ／31	青森放送／11	青森テレビ／33
	むつ				NHK 総合／4		ABA ／56		青森テレビ／58		青森放送／10		NHK 教育／12
岩手	盛岡	テレビ岩手／35			NHK 総合／4		IBC テレビ／6		NHK 教育／8		めんこいテレビ／33		岩手朝日テレビ／31
	釜石		NHK 総合／2		岩手朝日テレビ／62		めんこいテレビ／60		テレビ岩手／58		IBC テレビ／10		NHK 教育／12
	二戸		IBC テレビ／2		岩手朝日テレビ／27	NHK 総合／5			めんこいテレビ／29		テレビ岩手／37		NHK 教育／12
宮城	仙台	東北放送／1		NHK 総合／3		NHK 教育／5		東日本放送／32		ミヤギテレビ／34			仙台放送／12
	石巻	東北放送／59		NHK 総合／51		NHK 教育／49		東日本放送／61		ミヤギテレビ／55			仙台放送／57
	気仙沼		NHK 総合／2		東北放送／4		仙台放送／6		東日本放送／43		NHK 教育／10		ミヤギテレビ／37
秋田	秋田		NHK 教育／2			秋田朝日放送／31				NHK 総合／9		秋田放送／11	秋田テレビ／37
	大館	青森放送／1			NHK 総合／4	秋田朝日放送／59	秋田放送／6		NHK 教育／8				秋田テレビ／57
	大曲・横手		NHK 教育／43			秋田朝日放送／41				NHK 総合／45		秋田放送／47	秋田テレビ／51
山形	山形				NHK 教育／4		テレビユー山形／36		NHK 総合／8		山形放送／10	さくらんぼテレビ／30	山形テレビ／38
	鶴岡・酒田	山形放送／1		NHK 総合／3			NHK 教育／6		テレビユー山形／22			さくらんぼテレビ／24	山形テレビ／39
	米沢		さくらんぼテレビ／60		NHK 教育／50		テレビユー山形／56		NHK 総合／52		山形放送／54		山形テレビ／58
	新庄		NHK 教育／2		さくらんぼテレビ／28		テレビユー山形／26			NHK 総合／9		山形放送／11	山形テレビ／58
福島	福島・郡山		NHK 教育／2		テレビユー福島／31		福島中央テレビ／33			NHK 総合／9	福島放送／35	福島テレビ／11	
	いわき				NHK 総合／4		福島中央テレビ／58	テレビユー福島／62	福島テレビ／8		NHK 教育／10		福島放送／60
	会津若松	NHK 総合／1		NHK 教育／3	テレビユー福島／47		福島テレビ／6		福島中央テレビ／37		福島放送／41		

関東

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸	NHK 総合／44		NHK 教育／46	日本テレビ／42		TBS テレビ／40		フジテレビ／38		テレビ朝日／36		テレビ東京／32
	日立	NHK 総合／52		NHK 教育／50	日本テレビ／54		TBS テレビ／56		フジテレビ／58		テレビ朝日／60		テレビ東京／62
栃木	宇都宮	NHK 総合／51		NHK 教育／49	日本テレビ／53	栃木テレビ／31	TBS テレビ／55		フジテレビ／57		テレビ朝日／41		テレビ東京／44
	矢板	NHK 総合／40		NHK 教育／30	日本テレビ／36	栃木テレビ／33	TBS テレビ／42		フジテレビ／45		テレビ朝日／59		テレビ東京／61
群馬	前橋	NHK 総合／52		NHK 教育／50	日本テレビ／54	放送大学／40	TBS テレビ／56	テレ玉／38	フジテレビ／58		テレビ朝日／60	群馬テレビ／48	テレビ東京／62
	桐生	NHK 総合／51		NHK 教育／57	日本テレビ／53	放送大学／40	TBS テレビ／55		フジテレビ／35		テレビ朝日／59	群馬テレビ／41	テレビ東京／61
埼玉	さいたま	NHK 総合／1		NHK 教育／3	日本テレビ／4	放送大学／16	TBS テレビ／6	テレ玉／38	フジテレビ／8		テレビ朝日／10	群馬テレビ／48	テレビ東京／12
	熊谷・児玉	NHK 総合／51		NHK 教育／35	日本テレビ／53		TBS テレビ／55	テレ玉／30	フジテレビ／57		テレビ朝日／59	群馬テレビ／48	テレビ東京／61
	秩父	NHK 総合／14		NHK 教育／49	日本テレビ／16		TBS テレビ／18	テレ玉／47	フジテレビ／29		テレビ朝日／38		テレビ東京／44
千葉	千葉・船橋	NHK 総合／1	TOKYO MX ／14	NHK 教育／3	日本テレビ／4	放送大学／16	TBS テレビ／6	tvk ／42	フジテレビ／8	チバテレビ／46	テレビ朝日／10		テレビ東京／12
	銚子	NHK 総合／51		NHK 教育／49	日本テレビ／53		TBS テレビ／55		フジテレビ／57	チバテレビ／39	テレビ朝日／59		テレビ東京／61
東京	23 区	NHK 総合／1	放送大学／16	NHK 教育／3	日本テレビ／4	TOKYO MX ／14	TBS テレビ／6	tvk ／42	フジテレビ／8	チバテレビ／46	テレビ朝日／10	テレ玉／38	テレビ東京／12
	八王子	NHK 総合／33		NHK 教育／29	日本テレビ／35	TOKYO MX ／20	TBS テレビ／37		フジテレビ／31		テレビ朝日／45		テレビ東京／62
	多摩	NHK 総合／49		NHK 教育／47	日本テレビ／51	TOKYO MX ／61	TBS テレビ／53		フジテレビ／55		テレビ朝日／57		テレビ東京／59
神奈川	横浜・川崎	NHK 総合／1		NHK 教育／3	日本テレビ／4	放送大学／16	TBS テレビ／6	tvk ／42	フジテレビ／8	チバテレビ／46	テレビ朝日／10		テレビ東京／12
	横浜みなと	NHK 総合／52		NHK 教育／50	日本テレビ／54		TBS テレビ／56	tvk ／48	フジテレビ／58	チバテレビ／46	テレビ朝日／60		テレビ東京／62
	平塚・茅ヶ崎	NHK 総合／33		NHK 教育／29	日本テレビ／35		TBS テレビ／37	tvk ／31	フジテレビ／39		テレビ朝日／41		テレビ東京／43
	小田原	NHK 総合／52		NHK 教育／50	日本テレビ／54		TBS テレビ／56	tvk ／46	フジテレビ／58		テレビ朝日／60		テレビ東京／62
	秦野	NHK 総合／47		NHK 教育／49	日本テレビ／51		TBS テレビ／53	tvk ／61	フジテレビ／55		テレビ朝日／57		テレビ東京／59

表の見方

1
NHK 総合／1

1 ― リモコン番号　選局の順番です。1 から 36 までが使用できます。
NHK 総合／1 ― チャンネル名／受信チャンネル

甲信越

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
新潟	新潟			UX 新潟テレビ 21／21	テレビ新潟／29	新潟放送／5			NHK 総合／8		新潟総合テレビ／35		NHK 教育／12
	上越	NHK 教育／1		NHK 総合／3			UX 新潟テレビ 21／37		テレビ新潟／27		新潟放送／10		新潟総合テレビ／33
山梨	甲府	NHK 総合／1		NHK 教育／3		山梨放送／5	テレビ山梨／37						
長野	長野（美ヶ原）		NHK 総合／2		長野朝日／20		テレビ信州／30			NHK 教育／9	長野放送／38	信越放送／11	
	長野（善光寺平）		NHK 総合／44		長野朝日／50		テレビ信州／40			NHK 教育／46	長野放送／42	信越放送／48	
	松本		NHK 総合／44		長野朝日／50		テレビ信州／48			NHK 教育／46	長野放送／42	信越放送／40	
	飯田			NHK 教育／3	NHK 総合／4		信越放送／6		テレビ信州／42		長野放送／40		長野朝日／44
	岡谷・諏訪	長野朝日／61			NHK 総合／4		信越放送／6		NHK 教育／8		テレビ信州／59		長野放送／47

中部

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
富山	富山	KNB テレビ／1		NHK 総合／3			チューリップテレビ／32				NHK 教育／10		富山テレビ／34
	高岡	KNB テレビ／50		NHK 総合／48			チューリップテレビ／42				NHK 教育／46		富山テレビ／44
石川	金沢				NHK 総合／4		北陸放送／6	北陸朝日／25	NHK 教育／8		テレビ金沢／33		石川テレビ／37
	七尾	テレビ金沢／57		北陸朝日／59		NHK 教育／5		石川テレビ／55		NHK 総合／9		北陸放送／11	
福井	福井			NHK 教育／3						NHK 総合／9		福井放送／11	福井テレビ／39
	敦賀						NHK 総合／6		福井放送／8		福井テレビ／38		NHK 教育／12
岐阜	岐阜	東海テレビ／1		NHK 総合／3		CBC テレビ／5	三重テレビ／33	テレビ愛知／25		NHK 教育／9	GBS／37	メ～テレ／11	中京テレビ／35
	長良	東海テレビ／57		NHK 総合／53		CBC テレビ／55				NHK 教育／49	GBS／61	メ～テレ／59	中京テレビ／47
	高山		NHK 教育／2	中京テレビ／26	NHK 総合／4		CBC テレビ／6		東海テレビ／8		GBS／38		メ～テレ／12
	各務原	東海テレビ／1		NHK 総合／3		CBC テレビ／5				NHK 教育／9	GBS／37	メ～テレ／11	中京テレビ／35
	中津川			中京テレビ／26	NHK 総合／4		メ～テレ／6		CBC テレビ／8		東海テレビ／10	GBS／28	NHK 教育／12
静岡	静岡		NHK 教育／2		第一テレビ／31		あさひテレビ／33			NHK 総合／9		SBS／11	テレビ静岡／35
	浜松		第一テレビ／30		NHK 総合／4		SBS／6		NHK 教育／8		あさひテレビ／28		テレビ静岡／34
	三島・沼津		NHK 教育／51	第一テレビ／61		あさひテレビ／57		テレビ静岡／59		NHK 総合／53		SBS／55	
	島田	NHK 総合／56		NHK 教育／54		SBS／62		第一テレビ／48			あさひテレビ／50		テレビ静岡／58
	富士		NHK 教育／54	第一テレビ／27		あさひテレビ／29		テレビ静岡／39		NHK 総合／52		SBS／41	
	藤枝	NHK 総合／42		NHK 教育／44		SBS／40		第一テレビ／24			あさひテレビ／26		テレビ静岡／38
愛知	名古屋	東海テレビ／1		NHK 総合／3		CBC テレビ／5	三重テレビ／33	テレビ愛知／25		NHK 教育／9	GBS／37	メ～テレ／11	中京テレビ／35
	豊橋	東海テレビ／56		NHK 総合／54		CBC テレビ／62	三重テレビ／33	テレビ愛知／52		NHK 教育／50	GBS／37	メ～テレ／60	中京テレビ／58
	豊田	東海テレビ／57		NHK 総合／53		CBC テレビ／55	三重テレビ／33	テレビ愛知／49		NHK 教育／51	GBS／37	メ～テレ／61	中京テレビ／59
三重	津	東海テレビ／1		NHK 総合／3		CBC テレビ／5	三重テレビ／33	テレビ愛知／25		NHK 教育／9	GBS／37	メ～テレ／11	中京テレビ／35
	伊勢	東海テレビ／57		NHK 総合／53		CBC テレビ／55	三重テレビ／59	テレビ愛知／25		NHK 教育／49	GBS／37	メ～テレ／61	中京テレビ／47
	名張	東海テレビ／62		NHK 総合／52		CBC テレビ／60	三重テレビ／58	テレビ愛知／25		NHK 教育／50	GBS／37	メ～テレ／56	中京テレビ／54

近畿

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
滋賀	大津		NHK 総合／28		毎日テレビ／36		ABC テレビ／38	KBS 京都／34	関西テレビ／40	びわ湖放送／30	読売テレビ／42		NHK 教育／46
	彦根		NHK 総合／52		毎日テレビ／54		ABC テレビ／58		関西テレビ／60	びわ湖放送／56	読売テレビ／62		NHK 教育／50
京都	京都		NHK 総合／32	テレビ大阪／19	毎日テレビ／4		ABC テレビ／6	KBS 京都／34	関西テレビ／8		読売テレビ／10		NHK 教育／12
	山科		NHK 総合／52		毎日テレビ／54		ABC テレビ／56	KBS 京都／62	関西テレビ／58		読売テレビ／60		NHK 教育／50
	福知山		NHK 総合／50		毎日テレビ／54		ABC テレビ／58	KBS 京都／56	関西テレビ／60		読売テレビ／62		NHK 教育／52
	舞鶴		NHK 総合／51		毎日テレビ／53		ABC テレビ／55	KBS 京都／57	関西テレビ／59		読売テレビ／61		NHK 教育／49
大阪	大阪		NHK 総合／2	テレビ大阪／19	毎日テレビ／4	サンテレビ／36	ABC テレビ／6	KBS 京都／34	関西テレビ／8		読売テレビ／10		NHK 教育／12
兵庫	神戸		NHK 総合／28		毎日テレビ／31	テレビ大阪／19	ABC テレビ／41		関西テレビ／43	サンテレビ／36	読売テレビ／47		NHK 教育／45
	姫路		NHK 総合／50		毎日テレビ／54		ABC テレビ／58		関西テレビ／60	サンテレビ／56	読売テレビ／62		NHK 教育／52
	明石		NHK 総合／51		毎日テレビ／53	テレビ大阪／19	ABC テレビ／57		関西テレビ／59	サンテレビ／55	読売テレビ／61		NHK 教育／49
	川西		NHK 総合／29		毎日テレビ／35		ABC テレビ／37		関西テレビ／39	サンテレビ／33	読売テレビ／41		NHK 教育／31
	灘		NHK 総合／52		毎日テレビ／54	テレビ大阪／19	ABC テレビ／56		関西テレビ／58	サンテレビ／62	読売テレビ／60		NHK 教育／50
	長田		NHK 総合／44		毎日テレビ／38		ABC テレビ／40		関西テレビ／42	サンテレビ／34	読売テレビ／48		NHK 教育／46
	北淡・垂水		NHK 総合／51		毎日テレビ／53		ABC テレビ／57		関西テレビ／59	サンテレビ／55	読売テレビ／61		NHK 教育／49
	三木		NHK 総合／44		毎日テレビ／34		ABC テレビ／38		関西テレビ／40	サンテレビ／36	読売テレビ／42		NHK 教育／46
奈良	奈良		NHK 総合／2		毎日テレビ／4	KBS 京都／34	ABC テレビ／6		関西テレビ／8		読売テレビ／10	奈良テレビ／55	NHK 教育／12
	生駒		NHK 総合／2		毎日テレビ／4		ABC テレビ／6		関西テレビ／8		読売テレビ／10	奈良テレビ／26	NHK 教育／22
	五條		NHK 総合／43		毎日テレビ／33		ABC テレビ／35		関西テレビ／37		読売テレビ／39	奈良テレビ／41	NHK 教育／45
和歌山	和歌山		NHK 総合／32		毎日テレビ／42	テレビ和歌山／30	ABC テレビ／44		関西テレビ／46		読売テレビ／48		NHK 教育／25
	海南・田辺		NHK 総合／50		毎日テレビ／54	テレビ和歌山／56	ABC テレビ／58		関西テレビ／60		読売テレビ／62		NHK 教育／52
	新宮		NHK 総合／44		毎日テレビ／36	テレビ和歌山／34	ABC テレビ／38		関西テレビ／40		読売テレビ／42		NHK 教育／46

地域名と放送局一覧表・つづき

表の見方

1	― リモコン番号	選局の順番です。1 から 36 までが使用できます。
NHK 総合／1	― チャンネル名／受信チャンネル	

中国

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
鳥取	鳥取	日本海テレビ／1		NHK 総合／3	NHK 教育／4						山陰放送／22		山陰中央テレビ／24
	米子			NHK 総合／42		NHK 教育／5			日本海テレビ／8		山陰放送／10		山陰中央テレビ／34
	倉吉	日本海テレビ／1		NHK 総合／3	NHK 教育／4				山陰中央テレビ／58		山陰放送／56		
島根	松江	日本海テレビ／30					NHK 総合／6		山陰中央テレビ／34		山陰放送／10		NHK 教育／12
	浜田		NHK 総合／2	日本海テレビ／54		山陰放送／5			山陰中央テレビ／58	NHK 教育／9			
岡山	岡山			NHK 教育／3		NHK 総合／5	テレビせとうち／23	瀬戸内海放送／25		西日本放送／9		山陽放送／11	岡山放送／35
	津山		NHK 総合／2		テレビせとうち／56		瀬戸内海放送／62	山陽放送／7		西日本放送／58		岡山放送／60	NHK 教育／12
	笠岡		NHK 総合／2		NHK 教育／4	テレビせとうち／22	山陽放送／6			西日本放送／34	瀬戸内海放送／55	岡山放送／60	
広島	広島	テレビ新広島／31		NHK 総合／3	中国放送／4			NHK 教育／7		広島ホームテレビ／35			広島テレビ／12
	福山	テレビ新広島／54		NHK 教育／3		NHK 総合／5		中国放送／7		広島ホームテレビ／57		広島テレビ／11	
	呉	NHK 教育／1		広島ホームテレビ／24		広島テレビ／5		テレビ新広島／26		中国放送／9		NHK 総合／11	
	尾道	NHK 総合／1		広島ホームテレビ／24		テレビ新広島／26		NHK 教育／7			中国放送／10		広島テレビ／12
山口	山口	NHK 教育／42					山口朝日放送／52	テレビ山口／49		NHK 総合／44		山口放送／46	
	下関	NHK 教育／41		TVQ ／23	山口放送／4		山口朝日放送／21	テレビ山口／33		NHK 総合／39	TNC ／10		FBS ／35
	宇部	NHK 教育／55					山口朝日放送／24	テレビ山口／44		NHK 総合／58	TNC ／10	山口放送／61	
	岩国	NHK 教育／1					山口朝日放送／28	テレビ山口／62		NHK 総合／9		山口放送／11	
	防府	NHK 教育／1					山口朝日放送／28	テレビ山口／38		NHK 総合／9		山口放送／11	

四国

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
徳島	徳島	四国放送／1		NHK 総合／3	毎日テレビ／4		ABC テレビ／6		関西テレビ／8		読売テレビ／10		NHK 教育／38
香川	高松			NHK 教育／39		NHK 総合／37	テレビせとうち／19	瀬戸内海放送／33		西日本放送／41		山陽放送／29	岡山放送／31
	丸亀			NHK 教育／40		NHK 総合／44	テレビせとうち／46	瀬戸内海放送／42		西日本放送／50		山陽放送／48	岡山放送／52
愛媛	松山		NHK 教育／2				NHK 総合／6		あいテレビ／29	EAT ／25	南海放送／10	広島ホームテレビ／35	テレビ愛媛／37
	今治		NHK 教育／30				NHK 総合／32		あいテレビ／27	EAT ／17	南海放送／34		テレビ愛媛／36
	新居浜		NHK 総合／2		NHK 教育／4		南海放送／6	EAT ／14	あいテレビ／27				テレビ愛媛／36
	宇和島	NHK 教育／1					NHK 総合／6		あいテレビ／25	EAT ／16	南海放送／10		テレビ愛媛／27
高知	高知				NHK 総合／4		NHK 教育／6		高知放送／8		テレビ高知／38		高知さんさんテレビ／40
	中村	NHK 総合／1		高知放送／3			テレビ高知／32		高知さんさんテレビ／14			NHK 教育／11	

九州・沖縄

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
福岡	福岡	KBC ／1		NHK 総合／3	RKB ／4	TVQ ／19	NHK 教育／6			TNC ／9			FBS ／37
	北九州		KBC ／2	FBS ／35		TVQ ／23	NHK 総合／6		RKB ／8		TNC ／10		NHK 教育／12
	久留米	KBC ／57		NHK 総合／46	RKB ／48	TVQ ／14	NHK 教育／54			TNC ／60			FBS ／52
	大牟田	KBC ／58		NHK 総合／53	RKB ／61	TVQ ／19	NHK 教育／50			TNC ／55			FBS ／43
	行橋		KBC ／57	FBS ／43		TVQ ／19	NHK 総合／49		RKB ／60		TNC ／54		NHK 教育／46
佐賀	佐賀		NHK 教育／40	FBS ／52	STS ／36	TVQ ／14	KBC ／57		RKB ／48	NHK 総合／38	TNC ／60	RKK ／11	
	伊万里	NHK 教育／44		FBS ／52	STS ／41	TVQ ／14	KBC ／57		RKB ／48	NHK 総合／51	TNC ／60	RKK ／11	
長崎	長崎	NHK 教育／1		NHK 総合／3		NBC ／5		KTN ／37		NCC ／27		NIB ／25	
	佐世保		NHK 教育／2				NCC ／31	KTN ／35	NHK 総合／8		NBC ／10	NIB ／17	
	諫早	NHK 教育／51		NHK 総合／59		NBC ／62		KTN ／39		NCC ／56		NIB ／32	
熊本	熊本		NHK 教育／2	KAB ／16	KKT ／22		TKU ／34			NHK 総合／9		RKK ／11	
	水俣	NHK 教育／1		KAB ／32	NHK 総合／4		RKK ／6		KKT ／36		TKU ／38		
大分	大分			NHK 総合／3		OBS ／5	OAB ／24	TOS ／36					NHK 教育／12
	中津			NHK 総合／48		OBS ／51	OAB ／17	TOS ／37					NHK 教育／45
	佐伯	NHK 教育／1				TOS ／49	OAB ／31	NHK 総合／7		OBS ／9			
宮崎	宮崎			UMK ／35					NHK 総合／8		MRT ／10		NHK 教育／12
	延岡		NHK 教育／2		NHK 総合／4		MRT ／6		UMK ／39				
鹿児島	鹿児島	MBC ／1		NHK 総合／3		NHK 教育／5		KKB ／32		KTS ／38		KYT ／30	
	鹿屋		NHK 教育／2		NHK 総合／4		MBC ／6		KKB ／31		KTS ／33		KYT ／25
	阿久根				KKB ／23		KTS ／35		NHK 総合／8		MBC ／10	KYT ／17	NHK 教育／12
沖縄	那覇		NHK 総合／2				QAB ／28		沖縄テレビ／8		琉球放送／10		NHK 教育／12

言語コード表

言語名（順不同）	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264

言語名（順不同）	言語コード
フリジア語	5271
アイルランド語	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語	5467
アルメニア語	5471
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866

言語名（順不同）	言語コード
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語	6061
プロバンス語	6149
アファン語、オロモ語	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語	6266
ケチュア語	6367
ラエティ＝ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語	6461
ロシア語	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557

言語名（順不同）	言語コード
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズール語	7267

- ※の付いた言語は、画面上で言語名がそのまま表示されます。それ以外の言語は、4 桁の言語コードが表示されます。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント **原文**

対応ソフトウェアモジュール	
libjpeg	Exhibit A
libpng	Exhibit B
zlib	Exhibit C

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント「EULA」原文（英文）

ExhibitA

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2009, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ExhibitB

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.38, July 16, 2009, are Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

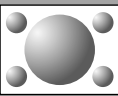
Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
July 16, 2009

ExhibitC

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

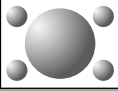
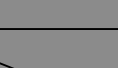
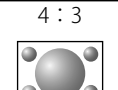
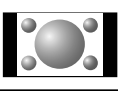
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

アスペクト比（画面比）について

アスペクト比とは、映像を構成する画面（映像）サイズの幅と高さの比で、4:3 放送とワイド放送があります。放送の収録時にはこれらの異なるアスペクト比の素材が存在し、テレビ側でこのアスペクト比を変換して表示しています。

映像出力端子設定	接続端子	テレビ画面サイズ設定	4：3 放送（映像ソース 4：3）	ワイド放送（映像ソース 16:9）
映像出力端子または S 映像出力端子	映像出力端子 /S 端子	4：3 レターボックス	4：3	4：3（レターボックス）
		4：3 パンスキャン	4：3	4：3（レターボックス）
		16：9 ワイド	4：3	16：9

※ ご使用のテレビによっては【D 端子解像度設定】で、480i（D1）または 480p（D2）を選んでいるときのみ、「ズーム」や「フル」などの切り換えが可能な場合があります。

お知らせ

- 市販のDVDビデオディスク再生時は、設定に関わらず、4:3パンスキャンでも、4:3レターボックスとして表示されることがあります。
- 放送内容や再生するタイトルによっては、この表のとおりに映像が表示されない場合があります。

参考資料・つづき

映像出力端子設定	接続端子	テレビ画面サイズ設定	4：3 放送（映像ソース 4：3）	ワイド放送（映像ソース 16:9）
HDMI 端子または D 端子	映像出力端子 /S 端子	4：3 レターボックス	4：3	4：3（レターボックス）
		4：3 パンスキャン	4：3	4：3（レターボックス）
		16：9 ワイド	4：3	16：9
	D 端子（D1/D2）	4：3 レターボックス	4：3	4：3（レターボックス）
		4：3 パンスキャン	4：3	4：3（レターボックス）
		16：9 ワイド	4：3	16：9
	D 端子（D3/D4）	4：3 レターボックス		
		4：3 パンスキャン		
		16：9 ワイド	4：3	16：9
	HDMI 端子（自動）	4：3 レターボックス	4：3（サイドパネル付き）	16：9
		4：3 パンスキャン	4：3（サイドパネル付き）	16：9
		16：9 ワイド	4：3（サイドパネル付き）	16：9
	HDMI 端子（480p 固定）	4：3 レターボックス	4：3	4：3（レターボックス）
		4：3 パンスキャン	4：3	4：3（レターボックス）
		16：9 ワイド	4：3	16：9

もくじと付属品の確認

本機を「楽しく」使っていただくために、「正しく」準備をすすめます。

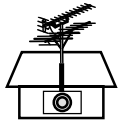
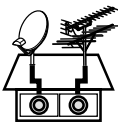
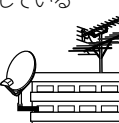
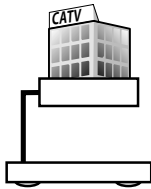
重要 「安全上のご注意」「使用上のお願い」をよく読む

本機をお使いになる上で、大切なお知らせや注意などが書かれています。
必ずお読みください。

6, 60 ページ

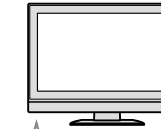
つぎに「接続」をします

接続1 接続をする前に

アンテナ線やテレビと接続する前に、準備や確認をします。

8 ページ

接続2 アンテナ線と接続する

番組を楽しんだり本機で録画するために、各放送波用アンテナ線と接続して、放送を受信できるようにします。

12 ページ

アンテナの種類

設置やお使いのアンテナに合わせて選んでください。

お住まい独自でアンテナを設置している			マンションなど集合住宅の共聴アンテナを利用している		CATV(ケーブルテレビ)を利用している
地上デジタル・アナログ放送のみ受信している	地上デジタル・アナログ放送と、BS・110 度 CS デジタル放送を、同じアンテナ端子で受信している	地上デジタル・アナログ放送と、BS・110 度 CS デジタル放送を、別のアンテナ端子で受信している	地上デジタル・アナログ放送と、BS・110 度 CS デジタル放送を、同じアンテナ端子で受信している	地上デジタル・アナログ放送とは別に、BS・110 度 CS デジタル放送をお住まい独自のアンテナで受信している	
14 ページ	15 ページ	14 ページ	15 ページ	14 ページ	16 ページ

接続3 テレビと接続する

テレビの映像・音声入力端子と接続して、録画した番組や市販の DVD ビデオなどをテレビで見られるようにします。

18 ページ

テレビについている入力端子の種類

本機と接続するテレビの入力端子に合わせて選んでください。

HDMI 入力	D 映像入力	入力 1（右（赤）・左（白）（音声）・映像（黄）・S映像）	入力 1（右（赤）・左（白）（音声）・映像（黄）（コンポジット））
HDMI 入力端子付きテレビと接続する	D 映像入力端子付きテレビと接続する	S 映像入力端子付きテレビと接続する	映像（黄）入力端子付きテレビと接続する
19 ページ	19 ページ	20 ページ	20 ページ

商品の保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、VTR 一体型ハイビジョンレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から 1 年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	VTR 一体型ハイビジョンレコーダー
形名	D-W250K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎（　　）　－

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

新製品などの商品選び、本機に関する取扱い方法などのご相談や販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝DVDインフォメーションセンター』　[受付時間]　365日　9：00～20：00

[一般回線からのご利用は] フリーダイヤル **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません）

[携帯電話からのご利用は] ナビダイヤル **0570-00-3755（通話料：有料）**
（PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合がございます）

[IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は]　03-6830-1855(通話料：有料）
[FAXからのご利用は]　03-3258-0470(有料）

「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
東芝グループ会社もしくは協力会社より対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

■新商品などの商品選びや、お買いあげ後の基本的な取扱方法および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については裏表紙をご覧ください。

B-CAS カード ID 番号記入欄

●下欄に B-CAS カードの ID 番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。